



敷田年
 治標注
 古事記標註
 上卷之中

リ 5
 1013
 2

リ 5
 1013
 2



皇大神の荒魂と記せり、年治云、此二柱の禍津日神ハ、禍と御名ニ負奉りてハ
 何とぞ禍を成し給ふも、何とぞ上ニ泣き給ふ時ニ、成坐一神名を泣澤女神と申
 御心の煩も一き時ニ、成坐一神名を和豆良比能守斯能神と申し、下ニ火
 中ニ生坐一神子を火照命、火須勢理命、火遠理命、あど一御名ハ、称奉まど、此
 三柱ハ、火神ニ坐由さざきと泣澤女神も、人をして泣けり、神ハ何とぞ、理を曉て、禍津日神の
 和豆良比神も、人をして煩も一う給ふ、神ハ何とぞ、理を曉て、禍津日神の
 名義を誤るべからず、御門祭詞ニ、疎備荒備來武、天能麻我都比登、云神乃言武
 惡事ハ、とあるハ、禍津日と云、神の御名の如く、と詞を加て、心得づ、然不記傳
 不世間物の曲ま、限も、此神の御所為くとして、一向ふまき答を、負奉り
 あり、世の學者も、皆其説を諾ひつゝ、いとく長き業あり、や、天照大御神
 の、荒魂不坐せり、神のついで、惡事をあし給もむ、今より後の學者たち、やめ惑
 べうらざ○大禍津日神、大を尊稱く、以上二神の日ハ、正字あり、紀ニ大綾津日
 神、不作まう○穢繁目ハ、醜目、万葉ニ、小屋之四忘屋とも、鬼乃志許草とも、何
 りて、上の醜女の醜ふならし、夜見国の穢を惡して、如此宣り○因汚垢而云々、
 此條ハ、心してよむべき、紀ニ、飢時生兒、號倉船魂神と、何とぞ世間の大方の、理
 を以て云を、飢時生兒、生ませば、人を飢へむ、神ハ、去れ坐すべきを、却て五
 種の穀物を、掌給つり、うきまを、此二神ハ、汚ま給ふ時ニ、生坐せ
 るち、殊小清、潔き、御徳の神ニ、おます事、更不疑ひまきをや

○神直毘神、記傳ふ未、直り、
 ざるを、直す意の御名くと云、
 稱も大も、尊稱ありて、日とハ、
 日神の日とハ、
 天照大御神の、
 和魂の坐せり、
 と史傳ふも云、
 り○伊豆能賣神、
 豆ハ清音ハ、
 豆字ハ清濁ハ、
 涉、たまど、神名、
 又神事ハ、關らふ、
 より云、る、何、
 神功紀ニ、五御魂、
 万葉一ハ、五可新、
 何本、あど、
 ち、る、見、
 一、是ハ

○古事記標注上卷之中
 ○二

次為直其禍而所成神名、神直毘
 神、毘字以音次大直毘神、次伊豆
 能賣神、拜三字也、伊以次於水底
 滌時所成神名、底津綿上津見神、
 次底筒之男命、於中滌時所成神
 名、中津綿上津見神、次中筒之男
 命、於水上滌時所成神名、上津綿
 上津見神、訓上云、次上筒之男命

被威敬、伊豆と書、べき例あり、を五を借、て書とるハ、清音ふよむべきため、名
 義ハ被威之女、ふて異義あり。○底津綿津見神、底中上と、海所ハ所ハ依、御
 名あり、綿津見の、名義ハ大綿津見神、下ニ注、り。○底筒之男命、筒ハ土と通、野
 椎神の、推ハち、底中上ハ、上ハ准、て知、り。○上津綿津見神の注、訓上云、
 宇間とあり、居、り、た、部を注、せ、り、て例、何、久、是を注、の儘、ウ、ヘ、ツ、と、よ、
 て、ハ、エ、ろ、し、扱、を、ウ、ハ、と、云、も、轉、語、を、受、る、ふ、之、又、津、の、助、辞、を、置、
 ま、し、格、ふ、ま、ど、紀、上、国、を、羽、播、豆、知、你、と、注、た、り、例、あ、り、を、思、ふ
 ム、轉、語、も、云、別、ま、バ、轉、終、言、と、あり、て、天、津、神、天、之、原、と、云、る、格、如、し
 ○阿曇連の阿曇ハ、地名より
 出たる氏より
 和名抄ハ、信濃
 國、郡名安曇、阿
 都美と注、し、近
 江國、伊香郡、伯
 耆國會見郡、寺
 の、郷、名、も、見
 たり、然、ど、是、
 音
 此三柱、綿津見神者、阿曇連等之
 祖神、以伊都久神也、伊以下三字
 故阿曇連等者、其綿津見神之子
 宇都志、日金拆命、之子孫也、宇都
 以、其底筒之男命、中筒之男命、

上筒之男命、三柱神者、墨江之、三

前大神也

ハ、信濃國より
 出たる姓と
 出ば、一、き、え、次
 云、連、ハ、戸、云、
 記傳ハ、群主の意くと云、り、姓氏録ハ、安曇宿禰、海神綿積、豊玉彦神、子、穗高見
 命之、後也、と、り、り、式ハ、信濃國、安曇郡、穗高神社、と、あり、を、併、見、べ、し、扱、此、三、柱、の
 綿津見命ハ、式ハ、筑前國、糟屋郡、三座、大志加海神社、と、り、り、て、阿曇連ハ、此、神、の
 御末あり、和名抄ハ、同郡阿曇、郷、り、ハ、阿曇の誤、り、て、其、氏、人、ハ、由、り、り、地名ハ
 阿曇連、賜、姓、曰、宿、禰、○以、伊、都、久、の、以、ハ、も、て、あ、す、ふ、ど、の、モ、テ、ハ、通、ふ、伊、都、久
 ハ、齋、つ、く、く、○宇都志、日金拆命、宇都志ハ、頭、く、日金ハ、地名、よ、り、和名抄ハ、信濃
 國、更級郡、郷名水鏡、此、如、奈、と、注、せ、り、此、地、ハ、由、り、り、御名、あり、り、阿曇連、下、ハ、云、
 る、が、如、し、折、ハ、猛、き、意、ふ、て、石、折、神、ハ、注、せ、り、姓氏録、未、定、雜、姓、安曇連、條、ハ、于、都
 斯奈賀命之、後、と、あり、奈賀ハ、日金、の、誤、り、り、り、○墨江之、三、前、ハ、式ハ、攝津國
 住吉郡、住吉坐、神社、四、座、と、あり、是、ハ、一、座、ハ、私、記、ハ、神、功、皇、后、坐、別、殿、狀、と、り、
 り、社、傳、ハ、皇、后、を、加、祭、せ、り、と、云、り、扱、去、の、攝津國、三、鎮、坐、せ、り、由、ハ、神、功、皇、后
 元年、紀、ハ、見、逐、り、り、此、社、ハ、仕、奉、ま、り、祝
 也、津守氏、ふ、て、田、裳、見、宿、禰、の、子、孫、と、

字を加へ、隱神身と記した。処の史傳ニ三柱神をり、高天原あり、北辰の中
に、隱了鎮座坐し、遠く隔りて、其御形を見奉る事なき故に、かく語り傳へたり
と云へ、日の御靈を、天津御國と名著り、高天原を北辰、あど云へ、誰りは是を
諾むむ、抑りし、世に優きたりむ人の、出来て、思ひの外、理を究むとも、日の
御靈の質を、窺ふ事ハ得も及びし、至愚の劣りて、神の御上を、恐る奉らざ
る業あり、ぞり、○月讀命、月とハ此に、生月神、其光彩、亞日、とあり、子依りたり、御
名、亞も次も、上代も、清音云、をヤ、讀とハ數はて、彼御形の始、を月立と申
し、其より、盈昃有りて、終り至りて、ハ、月籠と申せり、譬、バ望月、不知、宵月、立待月、
居待月、寝待月、
あど、月形、ふよ
りて、夜を數也
点、御名、ふ肩せ
奉り、万葉、ふ
都久用美、とあ
身、所生者也
るハ、音便讀之、此神大虚を、鏡、照、るハ、生坐て、後荒魂を、月とて、廻らしめ、
るあり、べー、○建速須佐之男命の、建も速も、尊稱、須佐之男ハ、進之男、ふて、物
ハ進び、は、ふを、
云、○大歡喜の、
此時、伊邪那岐命、大歡喜、詔吾者

大ハ甚をも、よ
りて、其程、小過
たる語、痛を
よめ、も、苦痛
の甚しきを云
○三貴子、舊訓
ハ、三ハシラ、ス
夕フトキ、三コ、
とよめ、まじ、紀
小珍を、云、于、圖
と、何、ふ、ふ、り
て、記傳、小、然、よ
め、る、ハ、從、ふ、ウ、ツ、と、ハ、珍、し、き、意、の、古、言、也、
○御頸珠ハ、上代男女とも、み
頸の、鏡、ハ、著、々、あり、○母由良通の、通を、辞、へ、母ハ、記傳、ハ、真の、意、ふ、や、と、云、り、
由良ハ、辯、ハ、貫、々、と、玉と、玉の、相觸、ま、て、鳴、音、を、云、古、哥、ハ、ユ、ラ、ク、あ、ど、よ、め、ハ、
玉、ふ、よ、是、鈴、ハ、ふ、は、れ、其、鳴、音、を、云、後、世、の、歌、ハ、露、あ、ど、ふ、云、る、を、誤、ま、り、○所、知、え、
知、を、延、た、語、へ、○御倉板舉之神の、
板舉ハ、借、字、ふ、て、御頸珠の、轉、語、あり、
○古事記標注上卷之中
○五

生生子而於生終得三貴子即其
御頸珠之玉緒母由良通此四字
取由良迦志而賜天照大御神
而詔之汝命者所知高天原矣事
依而賜也故其御頸珠名謂御倉
板舉之神訓板舉

ふト ○狄蠅ハ、稻蠅ヲテ、稻植ノ頃ノ蠅を云、扱稻をサト云、早稻の稻子て、
下へ云續く時ハ、第一音ヲ轉止、風を風雲と云、例ハ、稻苗、稻月、稻開、稻竟、稻少
女、稻雨等、をも准、知べし。○満モ、イハミとよむべし。神武紀ハ、大軍集
而満於其地、由ハ、八十梟帥屯聚居之、屯聚居、此云怡波、弥莖と注せり。

○大御神、上ノ
モ神、又命との
ミ、何リテ、此ハ
至リテ、如此、あま
ど、別意ナシ、尊
ミテ書リ、の
み ○伊佐知流
の、知エツ、の、古
音、モテ書リ、
儀式、ハ、知岐、黒
綿、万葉、十四、ハ、
信濃、奈流、知具
麻能、河伯、能と
あハ、和名抄

也 七字以音

岐大御神大忿怒詔然者汝不可
而、哭伊佐知流爾、答白僕者、欲罷
男命、何由以、汝不治所事、依之國
故伊邪那岐、大御神、詔速須佐之
妣國、根之堅洲國、故哭爾、伊邪那
住此國、乃神夜良比爾、夜良比賜
也 七字以音

ふ、同目郡名、筑摩、巨加萬、と注せり、以上知字を、ツとよみ、例ハ、○此モ字鏡集
色葉字類抄等ハ、ハハと注せり、万葉九ハ、父妣、毛將見跡、禮の曲礼ハ、生
曰、父母死曰考妣、と云、扱御妣とハ、伊邪那美命を、申せり、然ルハ須佐之男命を、
御妻と云、坐て、目土を修成、路ハ、殊ハ此ニ柱の御靈幸ひて、万物生、出つま、
真の御母、ふえ坐、たり、後世の姦智を以て、上代を疑ふべからず。○根之堅洲目
根ハ黄泉、下注、多如く、出雲國の地名、ふて、大根嶋是、是を根、目とも、根底
目とも云、り、堅洲ハ、借字、ふて、片隅、目と云、義、多、り。○罷モ、記傳ハ、貴き野、り、退
去を云、と云、り。○此目モ、依、路、目を云、り。○神夜良比の、
神ハ神の御上、ふ、附、て云、詞、多、り、夜良比ハ、逐、の、延、語、
○淡海ハ、近江
國、ふて、是をア
フミと云、え、淡
海、の、切、り、此、目
ハ、湖、水、ハ、因、き
る、名、ふて、縣、
と云、義、多、り、遠、江

然者、請天照大御神、將罷、乃參上
多賀也、故於是、速須佐之男命、言
故其伊邪那岐、大神者、坐淡海之
天時、山川悉動、國土皆震

国も、湖水、故、三代實録、淡海国と記せり、扱同名の国、二所あり、
 名、京より近きを、近津、淡海と云、畧して近江と書り、和名抄、近江、知加津阿
 不美、と注せり、然、此件、又常、ア、フ、三、とのと云、る、云、予の繁き儘、終、不、略
 て、云、效、つ、る、あり、○多賀式、の、同、国、犬、上、郡、多、何、神、社、何、り、紀、不、撰、幽、宮、於、淡、路、之
 遊、寂、然、長、隱、者、矣、亦、曰、登、天、報、命、仍、留、宅、於、日、之、少、宮、矣、と、も、何、り、記、傳、小、頭、御、身
 ハ、天、小、上、り、ち、り、て、近、江、と、淡、路、と、ハ、御、靈、を、留、つ、る、と、云、り、○故、於、是、古、の
 故、て、小、義、を、既、く、決、べ、き、を、忘、ま、し、り、是、ハ、上、文、を、受、け、たり、詞、あ、ま、ま、心、如、此、有、者、と、
 云、者、を、略、り、り、と、扱、如、此、と、カ、と、の、と、云、る、も、万、葉、三、の、此、方、彼、方、同、五、不、可、爾、也、
 入、尔、同、十、四、不、可、毛、可、久、母、お、ど、多、う、り、う、も、た、カ、も、如、此、も、て、し、も、有、の、畧、不
 る、予、を、了、解、す、べ、し、是、を、カ、ル、ガ、ユ、エ、の、三、段、及、ち、と、云、ハ、論、不、足、ら、ぬ、と、ど、り、言
 あり、カ、ル、ガ、ユ、エ、と、云、も、如、此、有、之、故、あ、る、を、や、○動、て、鳴、響、を、云、万、葉、の、歌、ハ、
 效、お、ゆ、り、古、今、集、ふ、も、秋、あ、ま、ま、山、廻、ち、で、あ、く、鹿、の、口、ま、お、と、り、め、や、お、と、り、ぬ
 る、夜、ハ、○驚、而、
 〇御美豆羅ハ、**爾天照大御神、聞驚而、詔我那勢**
命之上來由者、必不善心、欲奪我
國耳、即解御髮、纏御美豆羅而、乃

黄泉段、見、色、扱、上、代、女、
 〇、髮、を、垂、き、男、
 〇、髮、を、揚、て、
 〇、垂、き、一、を、此、
 〇、扱、み、男、の、御、
 〇、装、ふ、あり、御、髮、
 〇、を、解、て、左、右、不、
 〇、卷、立、つ、く、纏、此、
 〇、マ、キ、の、延、語、○御、髪、も、上、小、見、互、たり、○八、尺、句、瓊、史、傳、小、横、井、千、秋、が、説、を、引、
 て、云、ハ、八、尺、彌、く、尺、ハ、佐、明、あり、佐、ハ、真、ふ、通、ふ、言、ふ、ま、ま、彌、真、明、の、句、五、と、云、又、句、
 玉、を、目、赫、玉、あり、と、云、り、句、五、ハ、別、義、あり、と、思、へ、と、始、此、説、小、從、ふ、べ、し、○五、百、
 津、の、下、之、字、ハ、よ、む、べ、く、ず、是、ハ、漢、文、の、格、お、お、り、の、と、惣、て、津、ハ、之、の、お、
 ぶ、し、た、ま、バ、古、言、ハ、津、之、と、云、る、予、あり、紀、ハ、坂、瓊、之、五、百、箇、御、統、と、あり、と、よ、
 る、し、き、美、須、麻、流、ハ、慕、疏、ハ、以、絲、貫、穿、總、括、之、と、あり、ふ、て、通、互、たり、即、玉、を、貫、統、
 る、也、云、御、統、と、ハ、云、り、○曾、毘、良、通、ハ、皆、お、て、背、平、の、義、之、通、ハ、語、辭、○千、入、之、
 鞞、紀、ハ、千、箭、此、云、知、能、梨、と、何、り、和、名、抄、ハ、篋、乃、と、注、せ、り、篋、ハ、矢、不、作、り、竹、名、ふ、
 〇古事記標注上卷之中
 〇八

古事記標注上卷之中

〇八

り、故不記傳ハ、千篋入、と云、三百ガおと、五百ハも准、てゝるゾ、
勅ニ字書ス、盛箭室也、と注セリ、和訓集ハ予箭室とハ、つり

○伊都ハ紀ハ、**亦所取佩伊都**、此ニ字之、竹鞞而、

稜威をよみ久、**弓腹振立而、堅庭者、於向股、踏那**

文選ハ、稜威を、ソバクシ、と訓、**豆美、以音如沫雪、蹶散而伊都**、此

云、豆、武き意、**以音如沫雪、蹶散而伊都**、此

○竹鞞、紀ハ、**以之男建、訓建、夫踏建而待問**

高鞞ハ作ま、**何故上來**、是ハ強を受テ、音ノ高ク、**何故上來**、

りむと、鹿皮の毛の儘を、内ハ包ミ形ハ、**何故上來**、

まバ、**何故上來**、外記日記、久安三年十月、條ハ、有御鞞弓、懸御机云々、後世ま、

傳ま、**何故上來**、○弓腹、万葉十三、**何故上來**、

出た、**何故上來**、記傳、史傳、畧解等、注を脱セリ、○堅庭ハ、堅場ハ、地の堅きを云、

○向股ハ、私記ハ、**何故上來**、是正相向、故云、向股と云、

紀ハ、**何故上來**、那豆美、万葉ハ、夏草、**何故上來**、

○蹶散の、クエ、**何故上來**、蹶の、**何故上來**、

○山風、**何故上來**、**何故上來**、

○建ハ、**何故上來**、**何故上來**、

○伊佐知流ハ、**何故上來**、**何故上來**、

○都良久ハ、**何故上來**、**何故上來**、

○心ハ、**何故上來**、**何故上來**、

○家思吉巳許呂、**何故上來**、**何故上來**、

○予安我毛波、**何故上來**、**何故上來**、

○久ルハ、**何故上來**、**何故上來**、

○紀ハ、**何故上來**、**何故上來**、

○比賜故、**何故上來**、**何故上來**、

○一、軍記標注上卷之中

○九

をふり、今、
カヒ、と云、ハ、
あト、天安河
記傳、天、上、
河、河、と、
久、古語、拾遺、
天、八、滯、河、原、と、
あま、ハ、安、え、ハ、音、
瀬、の、轉、く、〇、乞、
度、も、コ、ヒ、ワ、タ、
リ、と、よ、む、づ、
度、と、ハ、其、指、事、
を、丁、穿、云、時、
ハ、附、云、伴、あり、
万、葉、十、一、小、戀、
ワ、と、ろ、源、氏、空、
蟬、不、待、ウ、たり、
同、相、盡、不、思、ハ、
耳無異心、爾天照大御神、詔然者
汝心之、清明何以知、於是速須佐
之男命、答曰、各宇氣比而生子、
而下三字、以故爾、各中置天安河
而、宇氣布時、天照大御神、先乞度
建速須佐之男命、所佩十拳劍、打
折三段、而、奴那登母、母由良爾、
字、以、音、振、滌、天、之、真、名、井、而、佐、賀、
美、爾、迦、美、而、以、自、佐、下、六、字、於、吹、棄、

わた、同、小、蝶、
和、物、語、住、
た、ハ、勢、物、語、
ハ、と、を、ハ、わ、
ハ、と、准、又、知、
〇、三、段、
三、分、之、和、名、抄、
中、筑、前、同、鞍、手、
郡、名、新、金、
比、岐、多、と、注、セ、
セ、ハ、ハ、芽、花、を、
あり、是、ハ、天、照、大、御、神、の、御、手、ハ、卷、持、セ、
振、舞、
の、真、名、又、真、之、
門、ハ、末、名、年、須、女、
居、後、ハ、蘇、言、と、
〇、古、事、記、標、注、上、卷、之、中、
十、

氣吹之狹霧所成神御名多紀理
毘賣命此神名亦御名謂奥津嶋
比賣命次市寸嶋上比賣命亦御
名謂狹依毘賣命次多岐都比賣
命三柱此神
名以音

聲、とあまは、サクく、音を立て、詔、つゝを云、○吹棄、上、下、も、投棄、と、何、く、猶、八、千、
矛、神、の、と、哥、小、見、也、○氣、吹、紀、不、氣、實、不、作、り、伊、浮、岐、の、訓、注、何、り、即、息、吹、の、畧、之、
○狹、霧、の、吹、也、狹、土、神、の、吹、不、お、あ、ド、○多、紀、理、毘、賣、命、ハ、氣、吹、之、狹、霧、不、生、坐、是、
を、多、ハ、發、語、り、立、の、畧、ゆ、て、紀、理、ハ、霧、ク、紀、の、一、書、不、田、霧、不、作、ま、り、○與、津、嶋、比、
賣、命、ハ、次、不、與、津、宮、と、あ、々、処、不、注、○市、寸、嶋、比、賣、命、式、不、安、藝、國、佐、伯、郡、伊、都、伎、
島、神、社、と、何、り、不、お、あ、ト、今、嚴、嶋、と、書、を、り、其、義、之、○狹、依、毘、賣、命、狹、ハ、真、不、通、ム、
美、稱、之、依、ハ、頼、不、お、あ、ド、○多、岐、都、比、賣、命、紀、不、湍、津、姫、不、作、ま、り、
正、字、を、り、つゝ、其、え、真、名、井、の、水、の、湍、り、流、る、く、不、依、ま、り、御、名、を、り、

○御、美、豆、良、又、
御、鬘、ハ、貴、泉、段、
不、見、迄、た、り、○
正、勝、吾、勝、勝、速、
日、天、之、忍、穗、耳、
命、記、傳、不、正、勝、
ハ、紀、不、正、哉、不、
作、ま、り、み、よ、り、
マ、サ、カ、と、よ、
む、づ、と、云、り、
速、須、佐、之、男、命、乞、度、天、照、大、御、神、
所、纏、左、御、美、豆、良、八、尺、句、穗、之、五、
百、津、之、美、須、麻、流、珠、而、奴、那、登、母、
母、由、良、爾、振、滌、天、之、真、名、井、而、佐、
賀、美、邇、迦、美、而、於、吹、棄、氣、吹、之、狹、
霧、所、成、神、御、名、正、勝、吾、勝、勝、速、日、
天、之、忍、穗、耳、命、亦、乞、度、所、纏、右、御、
美、豆、良、之、珠、而、佐、賀、美、邇、迦、美、而、
於、吹、棄、氣、吹、之、狹、霧、所、成、神、御、名、
天、之、菩、卑、能、命、自、菩、下、三、亦、乞、度、
所、纏、御、鬘、之、珠、而、佐、賀、美、邇、迦、美、
而、於、吹、棄、氣、吹、之、狹、霧、所、成、神、御、
名、天、津、日、子、根、命、又、乞、度、所、纏、左、
御、手、之、珠、而、佐、賀、美、邇、迦、美、而、於、

即、上、哉、の、義、也、
吾、勝、ハ、記、傳、不、
ア、カ、ツ、と、訓、り、
御、宇、氣、比、ハ、勝、
終、小、意、あ、れ、バ、
再、勝、ハ、正、勝、不、
附、ま、よ、む、づ、
勝、速、日、ハ、勝、速、
ぶ、み、て、奇、び、
く、ぶ、と、同、
格、あり、忍、ハ、忍、
許、呂、別、の、処、不、
注、り、穗、ハ、大、の、
借、字、耳、を、物、哲、
開、渡、ら、し、
ぬ、美、稱、不、て、須、
賀、之、八、耳、神、下、
併、見、ル、ベ、
○天、

之喜甲能命の、吹棄氣吹之狹霧所成神御名、活
天ハ尊林々、苦津日子根命、亦乞度所纏右御手
ハ祝の畧々、紀の御目讓條不、當主汝祭祀者、
天穂日命是也、と、何れを見ろ、と、早ハ日不
て尊稱く、此苦須毘命、并五柱自レ久、於レ是、天照大
を、大と云、卑を耳の轉、と云、何れも、古言の
格、云、叶まざる、御神、告速須佐之男命、是後所生、
辭、説く、右不忍、穂を、忍大と注、五柱男子者、物實因我物所成、故
る、と、ハ、大の用、自吾子也、先所生之、三柱女子者、
法別く、混べり、物實因汝物所成、故乃汝子也、如
ら、ず、○天津日

子根命、何れも、此詔別也、故其先、所生之神、多紀
稱、たり、御名不、理毘賣命者、坐、冑形之、奥津宮、次
て、別義、ふ、日、市寸嶋比賣命者、坐、冑形之、中津
子比賣、ふ、義、高日子、と、あ、宮、次、田寸津比賣命者、坐、冑形之、
処、不、注、べ、○、邊津宮、此、三柱神者、冑形君等之、
活津日子根命、稱、たり、御名不、て、別義、ふ、○、熊野久須毘命、
紀、不、櫛、杼、比、不、以、伊都久、三前大神者也、
作、ま、り、熊野ハ、式、不、出、雲、國、意、宇、郡、熊野坐神社、何、れ、此、地、不、因、た、り、御名、あ、る、べ
し、久、須、え、奇、ま、し、き、意、り、毘、を、日、り、耳、の、轉、ら、○、物、實、ハ、紀、不、物、根、と、何、れ、御、子、と
あ、る、づ、き、實、く、○、冑、形、ハ、和、名、抄、不、筑、前、國、郡、名、宗、像、半、奈、加、多、と、何、れ、○、奥、津、宮
ハ、筑、前、國、海、中、不、在、て、今、恩、賀、嶋、と、云、大、嶋、よ、り、四、十、八、里、北、方、不、あ、り、て、周、一、里
許、の、嶋、と、云、右、不、奥、津、嶋、比、賣、命、と、見、を、た、り、○、中、津、宮、ハ、今、大、嶋、と、云、神、湊
よ、り、三、里、許、北、の、海、中、不、何、れ、周、三、里、○、邊、津、宮、ハ、記、傳、不、今、田、嶋、と、云、古、ハ、神、湊

德朝御宇、安房國造、伊許保止命、孫、伊己侶止、真、定、賜、目造、とあり、○津嶋縣直、詳
あ、ぞ、目造本紀に見え、た、津嶋縣直、高魂尊五世孫、とあり、今案、尾張國
海東郡、津島と云、地名あり、神宮雜例集、伊勢國度會郡、津嶋、崎と云、地
名見也、是らの中、此神の御末の、遺し、や考、○遠江國造、八目造本紀、
物部連祖、とあり、
次天津日子根命者、
凡河内目造、是、**馬連**、**來田國造**、**倭田**、**中直**、**山代**、**湯坐**、
ハ河内目造、是、**國馬**、**造**、**道**、**尻**、**岐**、**閑**、**國**、**代**、**國**、**造**、
淡川と大和川、**生**、**稻**、**造**、**倭**、**淹**、**知**、**造**、**高**、**市**、**縣**、**主**、**藩**、
と云、包、さ、さ、た、り、目、お、ま、名、つ、く、り、九、八、大、と、同、義、あ、る、を、丹、後、國、加、佐、郡、鄉
名、九、海、を、和、名、抄、み、於、布、之、安、万、と、注、せ、る、を、徵、と、し、記、傳、云、九、河、内、を、オ、フ、シ
カ、フ、チ、と、よ、り、て、非、に、抑、和、名、抄、あり、郡、郷、部、官、職、部、寺、ハ、後、人、の、加、た、り、と、の
ふ、て、仮、名、の、誤、少、う、う、ぎ、ま、バ、心、し、て、抄、出、す、さ、き、を、や、安、閑、紀、云、大、河、内、其、味、張、
推、古、紀、云、大、河、内、直、糠、手、舒、明、紀、云、大、河、内、直、矢、伏、お、ど、對、見、る、一、猶、繼、體、改、九、連
下、云、委、注、一、目、造、本、紀、云、九、河、内、目、造、檀、原、朝、御、世、以、彦、己、曾、保、理、命、為、九、河、内
目、造、と、り、り、猶、考、一、○額、田、部、湯、坐、連、姓、氏、録、云、允、恭、天、皇、御、世、被、遣、薩、摩、國、平、
年、人、復、奏、之、曰、獻、御、馬、一、疋、額、有、町、形、廻、毛、天、皇、喜、之、賜、姓、額、田、部、也、と、あり、町、形

とハ、田、字、の、形、ハ、湯、坐、ハ、神、代、紀、云、乳、母、湯、母、及、飯、野、湯、坐、と、見、え、湯、を、掌、る、職
名、ハ、故、ハ、雄、略、紀、云、湯、人、を、一、工、と、よ、め、り、此、湯、坐、の、事、至、仁、段、云、委、注、一、按、ふ
額、田、部、氏、の、人、湯、浴、の、事、云、預、仕、奉、り、湯、坐、を、加、て、額、田、部、湯、坐、連、と、姓、を、賜、え
る、と、あり、孝、德、紀、續、紀、續、後、紀、等、云、氏、人、見、え、た、り、舊、事、紀、云、天、斗、麻、弥、命、額
田、部、湯、坐、連、寺、祖、と、あり、是、ハ、姓、氏、録、云、天、戸、間、見、命、云、作、り、天、津、彦、根、命、男、と、あ
り、○茨、木、目、造、本、云、木、目、造、と、あり、と、目、造、本、紀、云、紀、伊、目、造、神、皇、產、靈、命、五、世、孫
と、あり、ハ、符、す、紀、云、茨、城、目、造、額、田、部、連、寺、遠、祖、也、と、あり、を、據、と、し、記、傳、云、茨
字、を、加、た、ら、し、從、ふ、一、茨、城、ハ、常、陸、國、の、郡、名、云、て、目、造、本、紀、云、輕、嶋、豐、明、朝、御
世、天、津、彦、根、命、孫、筑、紫、刀、祢、定、賜、目、造、と、あり、○倭、田、中、直、舒、明、紀、云、天、皇、遷、居、田
中、宮、と、あり、ハ、通、證、云、在、高、市、郡、田、中、村、と、あり、此、外、大、和、志、云、添、上、郡、添、下、郡、寺
山、田、中、村、あり、乳、母、云、む、○山、代、目、造、山、代、武、山、背、云、作、り、山、城、云、り、是、ハ、大、和、國
より、山、を、越、て、後、云、り、り、目、造、本、紀、云、天、一、日、命、為、山、代、目
造、姓、氏、録、云、天、麻、比、止、都、祢、命、云、作、り、天、津、日、子、根、命、の、御、子、と、傳、え、り、○馬、來、田
目、造、ハ、和、名、抄、云、上、総、目、郡、名、望、多、未、宇、多、と、あり、此、地、云、万、葉、十、四、上、総、目、歌、云、
宇、麻、具、多、能、祢、呂、と、あり、續、紀、十、二、子、望、也、と、あり、目、造、本、紀、云、馬、來、田、目、造、志
賀、高、穴、穗、朝、御、世、茨、城、目、造、祖、建、許、呂、命、見、深、河、意、弥、命、定、賜、目、造、○道、尻、岐、閑、目
造、詳、云、ら、ず、目、造、本、紀、云、道、口、岐、閑、云、作、り、或、道、江、云、誤、と、り、猶、考、一、○周、芳、國
造、和、名、抄、云、周、防、須、波、宇、と、注、せ、ま、と、九、河、内、下、云、注、云、如、く、郡、郷、部、ハ、後、人、の、檢

入あきバ、忘古、置ふ所、然ハ、芳又防ハ、古額也、ハグと云て、芳と云る者、千年
前ハ、決あきず、同目熊毛郡ハ、コ防、と云地、和名抄の、辨名ハ周防、と
行、是国名の、起まり地、此郷ハ、諏訪神社あり、社記ハ、建御名方神、遣來て
住、ゆゑ、建御雷神、追、攻て、來坐り、バ、須か、と云て、信濃国ハ、社坐、を、又追
行、バ、又須か、と宣ひ、也、此地も、彼地も、須か、國と、名づ、由、記せりと、
近藤芳樹來て、語りき、スハ、太平記、及軍書等ハ、常、所、語、て、古言、と、聞
也、巴、姓、郎方、と云、つ、實ハ、周防、と、云、云、縣居翁も、疑ひ、あり、目造
本紀ハ、周防、目造、輕嶋、豊明朝、茨城、目造、同祖、加、速、乃、意、美、定、賜、目、造、○、倭、池、知、造
ハ、大和志ハ、山邊郡ハ、菴治村あり、土人もオホゲと云り、靈異記ハ、十市郡菴
知村とあり、童謡ハ、あむちの、古むちの、よろづの子、と記せり、何き、あり、む
高市縣主、和名抄ハ、大和國郡名、高市、多、知、と注り、土人ハ、タカイチと云り、
蒲生、稻寸、和名抄ハ、近江國郡名、蒲生、加、万、不、と注り、稻寸ハ、稻置とも、作、成、務
天皇、五年、紀ハ、令、諸、國、以、國、郡、立、造、長、縣、邑、置、稻、置、と、有、縣、主、不、立、並、縣、内、の、政、を、
執、と、聞、也、巴、中昔、の、大、少、領、等、一、つ、む、名、義、ハ、積、お、り、稻、置、を、掌、る、也、
稻君、あり、づ、九、恭、紀、ハ、關、難、國、造、云、々、赦、死、刑、敗、其、姓、謂、稻、置、と、あり、爰、小、姓、と
あ、ま、と、齋、あり、然、ハ、後、ハ、加、婆、祢、と、あり、大、武、紀、ハ、八、色、之、姓、を、制、し、ハ、弟
八、等、ハ、入、路、り、○、三、枝、部、造、ハ、天、武、紀、ハ、福、草、部、不、作、と、是、ハ、三、枝、部、の、中、ハ、
長、た、ハ、人、不、造、の、加、婆、祢、を、賜、つ、と、む、此、氏、人、ハ、續、後、紀、十、四、ハ、三、枝、直、平、鷹、と

外ハ、史ハ、見、不、見、三、枝、と、名、づ、を、
由、ハ、姓、氏、録、三、枝、部、下、ハ、見、不、見、たり

○手弱女を、和
名抄ハ、太平夜
米、と注、類聚
名義抄も、お
ト、文選ハ、嬋媚
又嬋媛を、タ
ヤカ、と訓、遊
仙窟ハ、逶迤、又
婀娜、をよめ、
案ハ、女の容、
も、ふ、よ、や、ハ、
打たを、こ、た、
を、愛、る、也、
年、四、月、類、聚、
メ、よ、リ、轉、た、
る、義、以、て、
古、事、記、標、注、上、卷、之、中
○十五

爾速須佐之男命、白于天照大御
神、我心清明故、我所生之子、得手
弱女、因此言者、自我勝云、而、於勝
佐備、此二字、離天照大御神之營
田之阿、此阿ノ字、埋其溝、亦其於聞
看大嘗之殿、屎麻理、此二字、散

を、愛、る、也、
年、四、月、類、聚、
メ、よ、リ、轉、た、
る、義、以、て、
古、事、記、標、注、上、卷、之、中
○十五

弱字を、ワヤとも、ヲヤとも、よめる例、ふきまや、扱手、鬚、女を得て、勝ぬと宣う
 由ハ、上ハ宇氣比而、生子、と、つら、を、照し見ると、御心の黒く、御子ハ生
 す、ふ、ま、理、紀、とハ傳、異、今此記の儘を法、○勝佐備ハ、勝進あり、○菅田和
 名抄ハ、何豆久太、と注せ、作田の畧、○阿ハ、田畧の畔あるを、古ハ阿と云、
 源順集、アを上下ふおきて、何と、と、打うつ、ん、小山田の、昔代水、ぬ
 きて、作、畔、○大嘗ハ、大新嘗の畧、久ヒとアを、省、云、ハ、畧語の例、是ハ何
 ま、新、ま、の、を、以て神、御饗奉るを、云、上代も新嘗を、以、家毎ハ神、供、
 し、方葉集、見、色、を、浮屠氏、盛、ふ、りて後ハ、神祭の式も、何と、あ、表
 へ、朝家、の、わ、つ、く、行、も、め、新嘗祭、是、○聞者ハ、神、供、御、自、
 食、た、一、聞、食、ハ、キ、メ、ス、を、延、云、り、聞、と、ハ、耳、の、と、聽、ハ、あ、目、見
 る、口、食、ふ、も、鼻、嗅、く、も、岐、久、と、云、古言、俗、目、利、鼻、利、と、云、利
 酒、と、云、酒、の、善、惡、を、飲、命、を、云、是、ら、は、て、キ、コ、ス、と、義、を、心、得、と、○屎、麻
 利、散、ハ、上、於、屎、と、も、何、り、新、官、を
 穢、一、御、勝、佐、備、の、甚、一、ま、く
 ○吐、散、登、許、曾
 古、古、の、大、意、此
 儘、ふ、て、通、と
 り、が、一、我、那

受而告如屎醉而吐散登許曾
 三 此

故雖然為天照大御神者登賀米
 受而告如屎醉而吐散登許曾
 三 此

勢命、如此為字、以、我那勢之命、為、如此、又、離、田
 つ、と、吐、散、す、音
 と、云、見、也、
 と、云、意、く、○那
 勢、ハ、汝、兄、の、て、
 兄、と、ハ、兄、弟、の
 拘、も、一、本、を
 親、む、詞、く、○阿
 多、良、斯、ハ、愛、む
 と、同、義、く、惣、て

而轉

物の新きを、誰も愛む、常、ふ、て、其、を、惜、む、不、云、轉、也、ま、ど、木、も、同、義、中、て、取、不
 ま、是、何、の、は、ま、人、の、技、を、惜、む、と、云、も、愛、む、中、て、其、甚、一、ま、を、依、番、と、云、も、別、語
 の、や、う、思、へ、れ、ど、起、る、処、ハ、同、意、ふ、り、雄、略、紀、ハ、阿、陀、羅、陀、俱、弥、儲、夜、と、ある、も、
 惜、大、匠、を、や、り、て、此、の、阿、多、良、斯、と、お、ま、扱、田、と、ある、づ、き、地、ハ、溝、を、掘、り、畔、を
 作、り、て、ハ、田、の、狭、く、ある、を、惜、む、と、宣、直、一、強、つ、と、○轉、記、傳、ハ、解、あ、ま
 ど、く、を、く、一、初、學、の、人、も、聞、取、る、事、難、う、む、是、ハ、俗、ハ、為、る、も、ふ、以、と、云、ふ
 當、る、語、あ、り、古、今、集、ハ、心、お、そ、う、た、て、お、く、れ、殊、ぞ、う、バ、と、云、る、も、心、去
 扱、為、る、も、あ、り、恐、れ、れ、扱、轉、字、を、書、ら、ハ、為、る、も、あ、り、少、ハ、轉、了、意

古事記標注上卷之中
 ○十六

○忌服屋ハ、忌
清由りて、神
衣を、織らしめ
跡山所く○班
馬毛、毛の、一色
まらぬを云、俗
不濁音ス、ブチ
と云、もめ○逆
刺ハ、仲衣段ハ、生刺逆刺、とあり、逆刺にて、生、まが、皮を刺を云、然ハ生刺と云
も、同義ありて、生、まが、刺、ハ、逆あり業、と云を、言を大ハ、生刺、逆刺とハ、云、ろく
然、を、生刺ハ、生た、儘を刺き、逆刺ハ、死た、を、足、方より刺、まが、の、説ハ、殊あう
ひく、く、拙き説あり、死た、を、刺、も、素より然、まが、を、是を足より刺、まが、と
て、首より刺、まが、として、ひく、で逆刺と云む○天衣織女、字の如し、是を詞客の詠
ふう、織女星、まが、の、擬、棚機と云、名を作出、歌よ、文、く、全、支、那人
の、妄作を、まが、あ、つ、ろ、く○梭ハ、織機の具
みて、字鏡ハ、比伊と注し、今も然、云、り
○石屋片字の
如し、岩窟ハ、籠、

天照大御神、坐忌服屋而、令織神
御衣之時、穿其服屋之頂、逆刺天
班馬、剝而、所墮入時、天衣織女、見
驚而、於梭衝陰上而、死
訓陰上
云富登

屋戸而、刺許母理、以三字、坐也、爾
高天原、皆暗、葦原中國、悉闇、因此
而、常夜往、於是萬神之聲者、狹蠅
那須、以此二字、滿、萬妖悉發
○集集而ハ、何
の神の命とも
あ、く、おのづ
ら集ふく○思
金神、記傳ハ、金
ハ兼、由て、數人

屋戸而、刺許母理、以三字、坐也、爾
高天原、皆暗、葦原中國、悉闇、因此
而、常夜往、於是萬神之聲者、狹蠅
那須、以此二字、滿、萬妖悉發
○集集而ハ、何
の神の命とも
あ、く、おのづ
ら集ふく○思
金神、記傳ハ、金
ハ兼、由て、數人

○古事記標注上卷之中
○十七

の思慮る智を、
一心不兼持了
長鳴鳥令鳴而

意くと、云、○今思後世の語法ありむふハ、令考と何のべりまど、考とハ、勘合の字音あり也、古言ふハ、然も云、是を書學びまら人の心得おくべき事ぞ
○常世長鳴鳥の、常世も、借字にて、常夜く、長鳴鳥ハ、長鳴雞と云、雞を鳥子、改めたるの、漢名あり、漢書及本草等ハ、見たり、○まば、長鳴鳥の、三字を、引合て、トリとよむべし、夫木集八ハ、○ま山の、○ちう木がうまの、○同とくぎすと、去夜の鳥の、ねみやびむとありハ、此件の故を、よめりて、中昔すてハ、トコヨノトリ、と云、○ちを、○ねを、○知べし、○ね、○鶏を集、○まハ、○鶏ハ夜半を、○過て、○鳴、○まのまを、○常夜あがりも、其時を知り、○ま、○ためあり

○堅石、字の如
取天安河之、河上之、天堅石、取天
の畧、○て、○鉄、○礎
金山之鐵而、求鍛人、天津麻羅而
と、○せ、○まのく
○鐵も、マガ子
羅ニ科伊斯許理度賣命、自伊
とよして、真金字
以音令作鏡科玉祖命、令作八尺
あり、委、○ハ、○因、○典、○字、○徴、○子、○注、○せり、○音

○鍛人も、金打
句璫之、五百津之、御須麻流之珠
の切、あり、○天

津麻羅而ハ、舊
而
事紀ハ、倭、○鍛、○師
等祖、天津真浦、と、○ま、○ま、○此ハ、○麻、○羅、○と、○ま、○ハ、○ウ、○の、○畧、○あり、○た、○ら、○之、○然、○ハ、○ま、○ま、○の、○麻、○羅、○を、○マ、○ウ、○ラ、○と、○よ、○め、○る、○ハ、○義、○も、○然、○ハ、○ま、○ま、○と、○麻、○羅、○ニ、○字、○以、○音、○と、○古、○注、○あり、○ま、○ま、○と、○ハ、○よ、○み、○が、○と、○一、○扱、○而、○字、○の、○下、○ハ、○令、○作、○日、○矛、○の、○四、○字、○古、○本、○ハ、○在、○り、○と、○或、○人、○云、○り、○未、○ッ、○其、○本、○を、○見、○ざ、○ま、○補、○む、○と、○一、○記、○傳、○ハ、○も、○落、○字、○あり、○と、○云、○り、○○伊、○斯、○許、○理、○度、○賣、○命、○紀、○ハ、○石、○凝、○燒、○又、○ハ、○凝、○戸、○邊、○ハ、○作、○り、○天、○枝、○戸、○見、○と、○何、○ハ、○女、○神、○あり、○是、○ハ、○御、○鏡、○を、○重、○て、○鑄、○り、○ま、○と、○云、○り、○○鏡、○ハ、○影、○見、○の、○轉、○あり、○酒、○祝、○竹、○玉、○菅、○原、○家、○持、○寺、○の、○例、○ハ、○て、○第、○四、○音、○より、○第、○一、○音、○ハ、○轉、○格、○あり、○是、○を、○毎、○日、○向、○ふ、○也、○と、○云、○り、○日、○見、○と、○云、○り、○或、○ハ、○赫、○見、○ま、○と、○云、○り、○説、○ハ、○韻、○學、○ハ、○聞、○き、○也、○と、○云、○り、○○玉、○祖、○命、○紀、○ハ、○玉、○屋、○ハ、○作、○ま、○り、○タ、○マ、○ノ、○オ、○ヤ、○の、○切、○り、○て、○お、○ま、○じ、○古、○語、○拾

○天兒屋命、文
召天兒屋命、布刀玉命、布刀二字
德實録、及、○姓、○氏
録ハ、○天、○兒、○屋、○根
而内拔天香山之、真男鹿之肩
命、○子、○作、○ま、○り、○む、○此

○古事記標注上卷之中

をト食と云、よ、あり、委、ハ具釈解、正ト考、神依板等、不就て見るべし、近年上代の布斗麻通法の存て、今も行ふ事有り、と云、を聞けり、其ハ武蔵国多磨郡阿岐留神社にて、毎年鹿トの神事有り、其ト樺木の大き、一株をたやく伐り、枝をとり、枯し、五尺方の焼場、小石を並べ、其上ト樺木を置き、火ハ杉皮を和し、作らる、打附、樺葉以て焚付、その火中ト杜鹿の肩骨トホカミエミ、と書きて、入き響き、時、とり出し、水ト濯ぎ、其切、色を見て、吉凶を占ふと云、此時尺餘の松、木にて、白を作り、縮を舂き、其儘獻る、其春くとよの謡ハ、夜ハ七夜、晝ハも七日をとり、子ら、うす々、す々、はぬや、は、神の心と、肩灼て、は、どひき々、は、うらゝめ、神の心と、肩灼て、を、さ、さ、さ、は、ぬや、は、神の心と、肩灼て、は、どひき々、は、つよろし、と、う、た、よ、あり、是ハその社の神主、中臣貞樹より、聞けり、古川躬行が、來て語りつるを、打聞、不、義の通、さ、さ、さ、お、さ、さ、甚、古雅、不、聞、也、ま、ば、因、不、記、一、つ、此、外、會、津、津、輕、ぶ、ど、の、神、事、不、ハ、今、も、毎、年、鹿、ト、の、行、を、お、く、す、一、ま、り、叔、我、古、ト、の、傳、を、ま、ら、ハ、外、夷、共、不、も、聞、也、後、漢、書、を、ま、ら、め、皇、國、の、事、を、記、せ、る、條、不、灼、骨、と、云、予、を、載、た、く、按、不、杜、鹿、の、骨、を、用、る、ハ、簡、易、う、ど、れ、バ、上、代、よ、り、龜、甲、不、贅、了、占、ひ、々、々、其、を、釋、日、本、紀、不、引、け、り、龜、兆、傳、不、ト、食、の、神、を、龜、津、比、々、命、今、稱、天、津、詔、乃、太、詔、戸、命、也、と、有、り、此、外、龜、甲、を、用、也、ハ、旁、證、少、く、然、る、不、記、傳、史、傳、を、ま、ら、め、古、學、不、開、る、人、と、ち、と、く、く、不、龜、ト、を、漢、國、の、もの、不、て、我、古、不、ハ、あ、ら、ま、ら、い、ふ、と、云、何、く、さ、く、さ、く、ハ、ゆ、り、年、治、云、皇、國、不、上、代、よ、り、傳、を

れ、る、龜、ト、と、漢、國、の、龜、ト、と、を、同、ト、あり、と、思、つ、ら、む、ら、名、ハ、お、あ、ト、と、さ、さ、ど、法、ハ、別、物、ち、を、や、卒、吾、國、の、龜、ト、ハ、骨、を、甲、不、贅、た、ら、の、と、不、て、其、法、ハ、右、不、注、る、と、お、と、く、何、れ、を、漢、國、の、龜、ト、と、云、ら、ハ、龜、を、玉、靈、夫、子、と、名、づ、け、是、を、料、ふ、ど、く、灼、き、先、病、を、問、ひ、兵、を、問、ひ、盜、を、問、ひ、年、の、吉、凶、等、を、問、ふ、不、其、龜、首、の、仰、き、或、ハ、俯、し、或、ハ、横、不、し、其、手、足、の、發、き、或、ハ、脇、め、あ、ど、ま、を、月、毎、不、仰、し、吉、何、く、凶、何、く、發、不、吉、何、く、凶、あ、り、と、て、其、を、見、て、は、不、ち、り、委、史、記、の、龜、策、傳、不、記、せ、り、是、ら、を、見、て、皇、國、と、外、夷、と、の、差、別、を、弁、づ、し、偶、甲、を、灼、予、の、聞、や、ら、を、我、龜、ト、を、真、似、ど、つ、る、ま、ま、と、其、法、ハ、決、て、異、あ、ら、う、へ、今、ハ、彼、國、不、龜、ト、を、絶、て、あ、し、と、云、り、可、く、さ、さ、を、鹿、骨、龜、甲、の、ト、法、を、我、國、不、起、り、是、即、大、古、の、布、斗、麻、通、あ、ら、を、や、抑、外、國、の、古、易、と、云、ら、ハ、八、卦、不、て、我、朝、不、ハ、欽、明、天、皇、十、四、年、不、至、り、始、て、其、書、を、貢、り、易、博、士、を、も、置、け、り、後、ハ、易、ハ、陰、陽、家、の、職、掌、と、あ、り、龜、ト、を、神、祇、官、不、傳、も、り、重、き、政、事、不、ハ、二、方、ハ、宣、下、け、り、て、占、ち、め、符、さ、さ、ハ、龜、ト、の、方、を、用、む、さ、せ、給、ふ、を、や、○、真、賢、木、天、香、山、之、五、百、津、真、賢、木、矣、根、許、常、磐、木、を、云、○、根、許、士、爾、許、士、而、自、許、下、五、於、上、枝、取、而、紀、不、掘、を、子、著、八、尺、句、璫、之、五、百、津、之、御、須、麻、コ、ジ、ニ、シ、テ、と

上めり、古語拾遺山、古語佐称、**流之玉、於中枝、取繫八尺鏡、訓八**
 居自能称居自、**阿**、**於下枝、取垂白丹寸手、青丹**
 と見え、万葉八多、**寸手而**、**訓垂**、**志殿**、**云**
 不、去年春、伊許、**自而、植之吾屋**
 外之、若樹梅者、花咲尔家里、記傳云、根ちぐりに、根取を云、と云、り○上枝ハ、最津
 枝より多、淡道之穂之、狹別嶋云、注せり○八尺鏡、尺字ハ紀不咫不作まくと、咫
 の誤、ちぐり、記傳の説も然り、訓注も、訓咫云、阿多、と云く、てハ、例不合、記傳
 不も然云、り、叔阿多とハ、兄手の畧轉不、第一の指を云、是ハ俗不、親指と云、和
 名抄不、拇大指也、於保於與比、と注せり、此扱の長を一、寸と一、一兄手とす、是
 不、八十寸、ハ阿多、ちぐり、ハ阿多、耶と切、ちぐり、ハ、ヤ夕鏡と云、然不、咫ハ、字書不、八寸
 と、注せま、ハ咫、字不、ヤ夕の訓ハ、あちぐりを、ハ、咫と一、も書り、ハ、ハ云々と書、效
 へる、古書の例不、泥も、ちぐり、ちぐり、ハ、不、ちぐり、ちぐり、ハ、是をハ、咫と書り、
 文字の、不、不、解、ハ、六尺四寸と云、を、ヤ、此御鏡の形を、御鏡座傳記不、ハ、頭花
 崎、ハ、葉形也、と記せり、を、諾、不、記傳不、御鏡の縁、ハ、頭、不、ちぐりと云、と云、り、ハ、ワラ
 ぐ、若、ハ、頭の義、ちぐり、むとせ、バ、猿田彦神の、御鼻を、七、咫と記せり、御鼻の、七、不、分
 きたり、と云、バ、誰、是を、乘、引、む、左、不、も、右、不、も、記傳史傳不、ハ、ちぐり、ハ、誤、少、く、り

ず、心して見、る、ちぐり○下枝も、垂、杖、ちぐり、是を、下、津、枝、と、云、る、を、非、ち、ぐり、扱、て、助、辨
 の、津、ハ、清、音、よ、よ、と、濁、ま、し、例、ち、ぐり、應、神、記、不、も、録、豆、曳、羅、波、と、り、と、○丹、寸、手
 ハ、和、服、不、て、紀、不、和、幣、を、よ、め、是、ハ、細、糸、も、て、織、た、を、云、扱、服、を、給、布、の、惣、名
 不、て、切、裁、た、を、後、撰、集、宇、治、拾、遺、枕、冊、子、等、不、サ、イ、テ、と、云、り、裂、服、の、轉、入、又、古
 服、を、フル、テ、と、云、も、お、ち、ト、此、服、の、延、て、タ、ハ、と、ち、ぐり、白、タ、ハ、和、夕、ハ、敷、タ、ハ、ち、ぐり、
 併、見、べ、此、白、丹、寸、手、ハ、敷、の、皮、以、て、織、た、服、ち、ぐり、青、丹、寸、手、ハ、麻、以、て、織、た、
 布、を、云、る、又、古、語
 拾遺不、見、を、ち、ぐり
 ○御幣ハ、御服、**此種種物者、布刀玉命、布刀御幣**
 座、ち、ぐり、座、と、云、
 何、品、不、は、ち、ぐり、居、
 置、く、物、の、名、不、
 て、御幣、座、ち、ぐり、**禱白而**
 を、後、不、ハ、居、座、
 物、不、指、ら、ず、幣、物、の、名、と、ち、ぐり、て、奉、り、て、ハ、倉、代、も、云、り、是、を、布、刀、御、幣、と、云、る
 ハ、此、の、御、ト、云、就、了、の、幣、物、ち、ぐり、由、是、然、云、り、其、由、ハ、布、刀、玉、命、の、下、不、注、る、如
 し、○取、持、而、ハ、取、も、ち、て、を、延、云、り、○布、刀、詔、戸、言、の、布、刀、ハ、布、斗、詔、通、の、布、斗、不
 て、焼、た、も、肩、骨、の、兆、不、見、を、た、を、頭、を、す、と、乃、留、と、云、り、万、葉、十、四、不、武、藏、野、鹿

宇良飯可多世伎、麻太或爾毛乃良奴伎美我名、宇良爾低爾家利是、ハト食五乃
留と、云予のりる由名、不告と云を兼みり、又龍良奴伊毛我名、可多爾伊成卒
可母とも有り、上小おふと、うきま、御戸言ハ、北解言の畧こと、短づし、扱上代
ハ、何事ふゆき、重き政事、明きぬをバ、大正以て、神の御心を問奉り、史
にも往々見よ、二柱大神も、天上小上座て、布斗麻通もて、ト問答も、事あり、
此の御トも、石屋戸より、出坐さるる状を、天津神小問奉り、北小何れも、まじり言
を、見屋命の申して、出坐と、禱白あり、然るに、布刀部戸言ハ、御ト言ふて、正しく神
語あり、由名、取あき、尊きまのあれバ、御ト言ふも、やむおとふき、尊きま
をバ、御ト言ふ准て、天津祝詞、大祝詞と稱申、事ハ、まじり、此天津祝詞乃、太祝
詞とハ、大直重て、云、そのよて、天津祝詞と、太祝詞と、二物なり、その小何れぞ
上小注、さうども、よく味づし、扱是を御ト言ふり、と云、その證ハ、右小引、龜
兆傳ハ、御トの神の御名を、天津部戸太部命、と申して、其意を得べし、古事談
ハ、龜甲、御占ニハ、春日、南、室町、西角ニ、御坐スル社ヲバ、フトノトノ、明神、ト申云
々、式小左京ニ條、坐大詔戸命神とあり、ハ、此神よて、江次第、御体御占條、小神祇
官人、自朝日籠本宮、迎太詔神と有り、猶式ハ、大和国添上郡、太祝詞神社、對馬嶋
上縣郡、能理乃、神社、同国下縣郡、太祝詞神社、ふと、同神ハ、坐せ、予論あり、是を
神名帳頭注ハ、大見屋命、と云、ハ、受ぶ、龜兆傳ハ、龜津比女命の、更名と傳
たき、ハ、是ら、是らを併見て、布刀部戸言の、義理を曉るべし、世の注者より、此義

を思ふたがへる由名、布斗麻通の説をもどり、
誤さるる少く、○禱白禱ハ、禊の原語也

○天手カ男神
ハ、手カの強き
を、御名ハ、負奉
まり、○天宇受
賣命、宇受を記
み、鈿と書り
ハ、借字也、古語
拾遺ハ、於須女
と有り、宇受も、於須も、おそり、と、云、古言よて、此神ハ、目の人ハ、勝きて、おそ
しく見ゆ、是バ、御名ハ、負奉まり、鳥ハ、鳩と云、有り、一名を方目と云、目の角ハ
又、状不見や、鳥よりとぞ、和名抄、類聚名義抄等ハ、於須賣止里と注し、字鏡集
ハ、ウズベと注し、色葉字類抄ハ、ウズイドリ、とよみ、俗ハ、エノクチマモリ、と
云、此鳥の名ハ、よりて、宇受賣命の名義を解べし、○日影ハ、蔓草あり、ハ、俣遠呂
智、段ハ、薺及檜相とあり、下小注ハ、○手次、紀ハ、手懸と書り、字鏡ハ、懸、求、小
見、背、帶、須支、と有り、然、ハ、須支ハ、紐、類、ふて、手懸るを、手須支とハ、云、ハ、神、ハ、
う、手、を、自由、ふ、ま、ハ、カ、手、助、之、と、云、ハ、非、ハ、○真、折、大、和、本、草、ハ、マ、サ、キ

而、爲、鬘、天、之、真、拆、而、手、草、結、天、香
山、之、小、竹、葉、而、訓、小、竹
云、佐、佐

ノカヅラハ其葉花實トモニ、マユニニ同ジ、皮ノ中ニ絲アリ、マユニノゴトシ
云々、本草啓蒙、扶芳藤を配て、一名ツルマサキ、と注し、葉花實共ニ、マサキニ
異ナラズ、樹上ニ蔓延シ、四時青翠、と云まじ、古今集、み山ふも、霞うらら、外
山ふも、ゆさきりのり、づる色づきふり、とあまバ紅葉まら草ふり、或書ハマサ
キヅラも、定家うづり、を云と云、此蔓草を、髪の飾りとせ

○代汗氣記傳、於天之石屋戸、伏汗氣、此二字、而而、以以レ音、爲爲ニ神懸、而而、踏踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、踏踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、

踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、踏踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、

踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、踏踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、

踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、踏踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、

踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、踏踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、

踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、踏踏、登登、抒抒、呂呂、許許、志志、此此、五五、字字、爲爲ニ神懸、而而、

原自閩、亦葦原中國、皆閩矣

許も、カノ古音、もて書り、万葉廿二、多知許毛乃、多知乃佐和伎、とあり、ハ、立賜之立、騷ふり、板登抒呂許志ハ、
轟らしめて、古今集、天のちりふとく、ろり、鳴神も、おもふ中をバ、ゆく、
その々ハ、とあり、○神懸とハ、神の人ハ、憑着て、物言を、むるを云、久其ハ物狂
ひする状あり、を、此あるハ、真の神懸り、ハ、何、其真似を、爲、ゆふ、爲、又、而、
とある、字、不、然、も、聞、や、を、や、是、ハ、大御神を、招奉むとて、諸神とちり、笑を
一め、終、た、め、の、謀、あり、○胃乳字の如し、上代ハ、乳房を、出す、を、愧とせ、
件、不、て、知、べし、今も、蝦夷人ハ、乳房を、出す、を、愧と云、
り、○裳緒ハ、裳、不、着、たり、紐、之、○細、の、メ、を、辞、あり

○為樂、アソビ、何由、以、天宇、受賣者、爲樂、亦八百、
古今集、不、神、あ、ヨロヅノ、カ、三、モロ、く、ラ、シ、ト、イ、ヒ、キ、ス、キ、ア、メ、ノ、ウ、
を、び、と、あり、○萬神、諸咲、爾、天宇、受賣、白言、益汝、
歡喜咲、紀、不、噀、命、而、貴神、坐、故、歡喜、咲、樂、如、此、言、
樂を、よ、り、久、笑、三コトニ、テ、タラトキ、カカ、イマスガ、ユエニ、エ、ラ、ギ、アソ、ブト、カ、マヨ、ス、
らく、儀、式、及、アヒ、タニ、アメ、ノ、コ、ヤ、子、ノ、ミコト、フ、タマ、ノ、ミコト、サシ、イデ、ハ、ソ、
續紀等、大嘗、アヒ、タニ、アメ、ノ、コ、ヤ、子、ノ、ミコト、フ、タマ、ノ、ミコト、サシ、イデ、ハ、ソ、

祭、豊明の詔、カミヲ鏡、示奉天照大御神之時、天照大
惠良伎と、カミニ御神、逾思奇而、稍自戸出而、臨坐
趣を、併思ふ、カミ、イヨ、オモホシアヤシト之、時、其所隱立之、天手力男神、取
常不笑ふとも、カミ、イヨ、オモホシアヤシト御神、逾思奇而、稍自戸出而、臨坐
別ふて、酒小酔、トキニ之、時、其所隱立之、天手力男神、取
うりき、大聲、ソノ其御手、引出
笑ふ状、と祭、テラ、ヒキイダシマツキ
也、○思奇、上、オホホスアヤシ
も、以、為、怪、とあり、アヤと云、アナと云、おま、ト、歎息の聲、して、其、不、シ
を添、て、奇怪の意、とあり、此、ハ、御鏡、ハ、大御面の、移、輝、を、野、と、
○尻久米繩、ハ、スナハチ即布刀玉命、以、尻久米、シリクメ此、ニ、字、ナハ繩、
今見る標繩、ヒキワタシテ控、度、其、御、後、方、白、言、從、此、以、内、不、
て、尻、漏、茅、繩、と、ヒキワタシテ控、度、其、御、後、方、白、言、從、此、以、内、不、
云、義、あり、其、カ、ヘ、リ、イ、リ、マ、シ、ソ、カ、レ得、還、入、故、天照大御神、出、坐、之、時、
藁、ハ、カ、ヘ、リ、イ、リ、マ、シ、ソ、カ、レ得、還、入、故、天照大御神、出、坐、之、時、
ま、色、木、の、漏、出、タ、カ、マ、ノ、ハ、ラ、モ、高、天、原、及、葦、原、中、國、自、得、照、明、
た、を、芽、と、云、ア、シ、ハ、ラ、ノ、ナ、カ、ツ、ク、ニ、モ、高、天、原、及、葦、原、中、國、自、得、照、明、
耳、草、木、の、芽、也、オ、ノ、ヅ、カ、ラ、マ、タ、ア、カ、リ、キ

是、小、お、あ、カ是、を、尻、籠、と、云、説、ハ、非、也、籠、と、云、と、ま、ハ、尻、を、索、隠、す、る、事、
也、如、此、志、と、ぞ、ま、き、状、み、索、つ、カ由、名、ハ、大、御、神、の、石、屋、戸、ハ、籠、坐、一、程、聞、く、て、
手、搜、ふ、索、へ、る、由、名、久、も、石、屋、戸、より、出、由、也、時、周、章、つ、索、ひ、カ也、名、茅、の、
出、つ、カ久、此、御、件、の、趣、み、て、ハ、あ、り、カ如、聞、ゆ、め、り、是、を、シ、メ、ナ、ハ、と、云、
ハ、尻、久、米、繩、の、畧、ハ、あ、り、カ也、齋、場、の、限、り、不、浄、を、避、る、た、め、標、つ、
繩、と、云、義、也、○自、得、の、得、字、ハ、復、の、誤、り、カ也、カ然、云、り、
○千、位、置、戸、の、カ於、是、ハ、百、萬、神、共、議、而、於、速、須、佐、
千、を、數、の、カ之、男、命、負、千、位、置、戸、亦、切、鬚、及、手、
を、云、位、ハ、座、カ足、爪、令、拔、而、神、夜、良、比、夜、良、比、岐、
て、被、津、物、を、カ足、爪、令、拔、而、神、夜、良、比、夜、良、比、岐、
お、く、座、カ物、と、ハ、罪、の、輕、
重、不、隨、ひ、て、家、財、ハ、は、ま、何、ま、ま、出、さ、カ物、あり、置、戸、の、戸、ハ、中、卷、伊、豆、志、
表、登、賣、神、殿、カ詛、戸、と、あり、カ不、扱、り、て、記、傳、ハ、戸、ハ、被、津、物、を、指、て、云、と、云、カ○切、鬚、
ハ、此、大、神、の、持、持、へ、る、物、の、限、り、を、盡、し、て、足、ら、ざ、カ由、名、ハ、御、鬚、を、切、り、御、爪、を、
拔、し、め、る、罪、を、贖、ひ、カ中、古、被、カ大、上、中、下、の、四、等、カり、カて、贖、物、を、カ出、さ、カめ、
し、カ延、喜、廿、年、の、格、カ見、カ延、喜、廿、年、の、格、カ見、カ延、喜、廿、年、の、格、カ見、カ延、喜、廿、年、の、格、カ見、
重、き、被、カ後、世、カハ、聞、カ○夜、良、比、カ逐、の、延、カたり、
○古、事、記、標、注、上、卷、之、中、
○二、十、四

郎右衛門と云ふもの、垣内の李ふ、云々ぬもの、おびたしく生たり、形ハ
豆莢ノ類テ、色テ青藥の、黄をりあり、其内ハ、米粉大麥、白大豆、青大豆、小豆、稗
蕎麥の類ニ三粒つゝ、あるを、其地を預り知り、大草太郎右衛門より、夫々桐箱
に納き、其由を書き添、徳川氏へ届出、其年の六月廿三日あり、年治疾、聞つる
所ハ、其日の未明ハ、江戸本郷弓町あり、太郎右衛門が第ハ行て、手取、見
たりき、是即神製、今、今の現ハ、うくる神の、御所為のあり、に合て、神代の神
態の、おひらぎを、故所避追而降出雲國之肥上河
思へ、○肥河、和
名抄ハ、出雲國
大原郡、郷名斐
伊とあり、本ハ
樋と云へ、を、神
龜三年、斐伊ハ
改、ト、風土
記ハ見、云々、
肥、下音注を脱、
○鳥髮風

汝等者誰故其老夫、荅言僕者、國
上、而尋覓上往者、老夫與老女、二
於、是、須佐之男命、以爲人、有其河
上、在、鳥髮地、此時、箸從其河流下、
人在而、童女置中而泣、爾問、賜之

土記ハ、仁多郡
鳥上山、郡家、東
南、三十五里、伯
耆、與出雲之、堀
と、何、○老女、
宇鏡ハ、娘、於、弥
奈と注、和名抄ハ、姫を於無奈と注せ、於弥奈の、音便讀、なり、扱女をヲ、三ナ
と云、ハ、老若を、惣、ハ、名、ち、を、於、弥奈ハ、老女ハ、限、り、於、乎の、仮名、ハ、て、差
別を、知、べ、○足名推、手名推、まの、神、たち、の、御父ハ、坐、大山津見神ハ、野推神の、
夫ハ、座、又、迦具土神の、御身、より、坐、坐、八柱の、山津見神も、御靈ハ、龍蛇ハ、坐、
り、予、彼、処、ハ、注、る、如、然、を、其、御、手、あり、足名推、手名推、神も、御靈ハ、あ、ち、ト
う、り、ハ、は、其、旗、を、尋、て、哀、呂、智、の、吞、不、來、し、り、り、り、扱、足、名、推、ハ、足、撫
推の、畧、ハ、て、撫、ト、ハ、記、傳、ハ、擲、名、田、比、賣、を、撫、愛、む、由、の、名、あり、ト、云、る、ガ、如
一、推、ハ、野、推、迦、具、推、の、推、ハ、あ、ち、ト、き、を、記、傳、ハ、名、推、ハ、豆、豆、を、切、ハ、豆、あり、知、ハ
稱、名、と、云、又、豆、ハ、之、ハ、通、ハ、辞、と、云、り、然、ら、バ、足、撫、津、父、手、撫、津、父、ト、ハ、予、ク、年、治
按、之、ハ、通、ハ、助、辞、の、津、を、ツ、と、濁、音、ハ、用、ひ、た、る、例、あり、又、稱、た、る、名、の、父、を、彦
舅、祖、父、伯、父、老、翁、汝、ち、と、チ、と、濁、き、も、例、あり、を、清、音、ハ、用、た、り、を、も、見、定、又、手、名、
推、の、如、く、女、ハ、千、の、稱、名、あり、も、い、ろ、且、豆、豆、の、豆、ハ、切、ま、と、云、る、反、切、も、何、

神、大、山、上、津、見、神、之、子、焉、僕、名、謂、
足、上、名、推、妻、名、謂、手、上、名、推、女、名、
謂、擲、名、田、比、賣、
謂、擲、名、田、比、賣、
謂、擲、名、田、比、賣、

予あし、惣て記傳の説ハ、及切清濁等ノ、定格ニ拘らず、思ひよる儘を、説ふまじ
ハ、事實ニ云當る予少シ、況て史傳ハ、論ニ足らず、語格をさへ、乱せし予少ク
ナリ○櫛名田比賣、紀ノ奇、箱田媛ニ作まじ、うは櫛ハ、
奇ノ借字ナリ、箱田ハ、大原郡須賀ノ地ノ、舊名ナリトゾ

○高志、和名抄、マタトヒ五ハ、イナガナク、ユエハ、オノト、マラシキ、アガムス、メ
テ、神門郡郷名、

古志、と、何ハ、此、
地ナリ○八俣、

遠呂智、紀ノ頭、
尾各有八岐、と

何リ、和名抄、キツ、トキナルガ、ユエニナクト、カレトヒ五ハ、ソノ、カクナハイカサマニカト、マラス、ソレガ
蛇、日本紀私記、

云、乎呂知、と注、
セリ、按ニ蛇、

尾ハ、殊ニ、嚴メ、
一、見、西、ミ、バ、

尾蛇、とハ云、
あ、る、べ、し、尾、を、

八谷、峽、八尾、而、見、其、腹、者、悉、常、血

爛也 此者今謂赤加賀者也

ハ、万葉十四、
夜麻杵里乃、乎呂能波都乎爾、とあり、山鳥之尾之初尾、みく、智ハ、和名抄、ハ、蟻蛇
を、夜、萬、加、カ、智、と、あり、智、不、て、蛟、蛭、蛇、ま、ど、り、チ、も、お、ふ、ト○赤加賀智ハ、次、不、見

也○八頭八尾、次ノ、谿、八谷、峽、八尾ノ、例、み、よ、リ、バ、頭、八頭、尾、八尾、と、有、レ、ハ、む、を、
文字ノ、落、た、り、ハ、何、是、不、あ、ま、字ノ、儘、も、よ、リ、バ、記傳ノ、訓、不、從、ム○

蘿、ヒ、カ、ゲ、と、よ、む、べ、し、上、天、之、日、影、を、手、次、繫、而、と、あり、を、紀、不、以、蘿、爲、手、次、
と、何、り、て、蘿、此、云、比、舸、磯、と、訓、注、を、加、た、リ、此、外、和、名、抄、古、語、拾、遺、等、ハ、蘿、字、を、ヒ

カ、ゲ、と、よ、む、た、り、引、不、違、あ、り、也、扱、紀、不、松、柏、生、於、背、上、一、書、云、每、頭、有、石、松、と、あ
る、を、刊、本、不、石、松、と、よ、む、記傳、も、此、訓、不、從、一、と、石、と、松、を、石、松、と、連、書、む、拙、き

熟、字、ノ、何、レ、も、あ、り、也、是、ハ、石、松、と、よ、む、べ、し、本草、苔、類、不、石、松、玉、柏、之、長、者
也、と、注、し、本草、啓、蒙、ハ、石、松、ハ、山、中、ニ、ハ、ヒ、テ、生、ス、其、蔓、長、五、七、尺、枝、多、ク、分、ル、葉

ハ、土、馬、駿、ニ、似、テ、黃、綠、色、ナ、リ、と、云、リ、是、モ、何、地、ニ、テ、モ、山、中、叢、樹、ノ、間、ハ、繁、蔓、
ヒ、カ、ゲ、カ、ヅ、ラ、と、モ、キ、ツ、子、ノ、ヲ、ガ、セ、と、モ、キ、ツ、子、ノ、タ、ス、キ、と、モ、サ、ル、ヲ、ガ、セ、と

モ、サ、ガ、リ、ゴ、ク、と、モ、云、リ、是、レ、を、以、テ、石、松、を、モ、蘿、を、モ、ヒ、カ、ゲ、と、よ、む、ニ、き、予、を
知、レ、シ、又、和、名、抄、ハ、松、蘿、を、マ、ツ、ノ、コ、ケ、と、モ、サ、ル、ヲ、ガ、セ、と、モ、注、せ、リ、女、蘿、モ、そ

ノ、一、名、不、て、是、を、キ、ツ、子、ノ、モ、ユ、ヒ、と、云、ヒ、阿、波、目、不、て、サ、ル、ノ、ヲ、ガ、セ、と、云、南
部、不、て、サ、ル、ガ、セ、と、云、リ、是、ハ、本、草、富、木、類、不、載、セ、形、状、ハ、石、松、と、ハ、大、く、異、ナ、リ

て、松及諸木、附て生し、形糸のおとく、白色ふりて、微緑を帯ひ、性弱く雨ふも、
切きやすきとのり、是ハ何きをも、サニヲガセと、云よりして、遂ふ石松と、松蘿
を、同品ト混し、我古書にも誤まり、故に正を、りき、く、決めた、人ふまぢ
縣居翁も、日影を松蘿ふりと思ひて、イハ堪よ、まふどのり、疑ひあ、不至
まじり故、筆、因ふ、おどろろく、おく、○酸醬、紀ふ亦酸醬ふ作り、猿田彦神の処ふも、
然、何、え、う、と、和名抄ふ、保々豆木も、酸醬ふ注し、本草和名、醫心方等ふ、酸醬
を、保々都岐、一名奴加都岐、ふどの注あきど、アカ、ガ、と云、見
よ、今、按ふ、酸醬と、酸醬ハ、本より別物ふ、後人よ、考てよ、

爾速須佐之男命、詔其老夫、是汝
○伊呂勢中卷
不、伊呂兄五
瀬命とあり、伊
呂とハ、人名ふ
入とも、通し
をて、親む詞、
色情ふ云、も、
起る處ハ同意
ふて、陰事ハ殊
不、親の深き故

爾速須佐之男命、詔其老夫、是汝
之、女者、奉於吾哉、荅白恐亦不覺
御名爾荅詔吾者、天照大御神之
伊呂勢者也、字、自伊下三故今自天
降坐也、爾足名推手名推神、白然

不、意も詞も、片
寄たり、く、兄と
ハ上代、男、對
てハ、姉、弟
をも、云、後
世と異く、○立
奉、記傳ふ、御食
奉るを、大神宮
儀式帳ふ、伊須
々乃宮仁、御氣
立止云々、万葉
六、宮柱、太敷
奉ふど、何、立
も奉も、タテマ
ツル、事、ふ、を、ニ、重ねたり、言くと云り、○於湯津爪櫛取成、紀ふ、立、奇、稀
田姫、為湯津爪櫛而、サシ、サシ於御髻、と、何、此件ハ、誰も、疑ひて、定たり、説を聞、ざれ
ど、字の儘不見るべし、神の御所為ハ、測知、べき限り、不、何、○八塩折之酒の
八塩ハ、彌度、より、一入を、ヒトシ、ホと云り、幾度も、絞て、其を折返、く、造る酒を云、

坐者、恐立奉、爾速須佐之男命、乃
於湯津爪櫛取成其童女而、刺御
美豆良、告其足名推手名推神、汝
等、釀八鹽折之酒、且作迴垣、於其
垣作八門、每門結八佐受岐、此三
音、每其佐受岐、置酒船而、每船盛
其八鹽折酒而待

獻於天神一書 **照** 大御神也、是者草那藝之大刀
テラス オホ ミカニ
 不遣五世孫天 **也**、那藝二 **故** 是以、其速須佐之男
ナリ ナリ コ、ラモテ ソノ ハヤ ス
 於天、とあり○ **命**、**宮** 可造作之地、求出雲國、爾到
コト ミヤ
 草那藝之大刀 **坐** 須賀 **此** 地、我御心、須賀須賀斯而其地
コト マシ ス ガノ
 八、倭建命、敗ふ、 **作** 宮坐、故其地者、於今云須賀也
ハ、ハ、ミヤ
 先、以、其、御、刀、斬、**此** 地、我御心、須賀須賀斯而其地
ハ、ハ、ミヤ
 撥草云々、著、**此** 地、我御心、須賀須賀斯而其地
ハ、ハ、ミヤ
 大而燒、退、とあり ○ **作** 宮坐、故其地者、於今云須賀也
ハ、ハ、ミヤ
 御劔ハ、皇孫命、**作** 宮坐、故其地者、於今云須賀也
ハ、ハ、ミヤ
 天降、**作** 宮坐、故其地者、於今云須賀也
ハ、ハ、ミヤ
 照大御神御手、つゝ、後ハ、永大宮、坐、を、崇神天皇の、御世、小至
 久、神威を忍、とある、天、目一箇神の、御齋命て、御劔を撰造し、め、護身御璽と
 修、眞の御劔を、バ、別殿、小遷奉る、を、其後、倭比賣命、御鏡と共、五十鈴宮、
 安置奉る、を、倭建命、東征の時、携、ハ、ハ、ミヤ
 夜、受、比賣、老後、ハ、ハ、ミヤ
 年、新羅の僧道行、と云、との、竊、ハ、ハ、ミヤ
 盗出、本目、小持、還、むとせ、ハ、ハ、ミヤ
 途、風、雨、ハ、ハ、ミヤ

遭ひて、果、と、形、る、ハ、神の御心、あり、其後、天武天皇、朱鳥元年、ト、天皇病、崇草薙劔
 即日、送、置、于、尾張、国、熱田、社、と、紀、不、見、ハ、ハ、ミヤ
 の間、禁中、ハ、ハ、ミヤ
 鎮奉る、御名、代、ハ、坐、ハ、ハ、ミヤ
 抜、見、ハ、ハ、ミヤ
 させ、ハ、ハ、ミヤ
 御外祖母、准后、二品、御劔を懐、奉、ハ、ハ、ミヤ
 語、見、ハ、ハ、ミヤ
 御劔云々、兼元、讓位、時、有、ハ、ハ、ミヤ
 させ、ハ、ハ、ミヤ
 師アリ、大神宮、一、千日参詣、ノ、志、アリ、云々、潮水ニ光、有リテ、寶劔ヲ得テ奏進、ハ、ハ、ミヤ
 ど、何、ハ、ハ、ミヤ
 等、惚、ハ、ハ、ミヤ
 坐、ハ、ハ、ミヤ
 とも尊、一、ハ、ハ、ミヤ
 須賀須賀斯、ハ、ハ、ミヤ
 見、ハ、ハ、ミヤ
 賀出雲、風土記、ハ、大原郡須賀、ハ、ハ、ミヤ
 社、又須賀、山、ハ、ハ、ミヤ

○自其地、雲立、茲大神、初作須賀宮之時、自其地、騰爾の七字ハ、御歌、夜久毛、多都、伊豆毛、夜幣、賀岐、都麻、碁、微、雲立と、思ひて、撰者の私意ハ、如た、非言く、然ハ紀をもち、め、古書ども、此件の古事を、岐表、云、る処ハ、雲の起と、云、るのふきを見、つ、中昔より後の、書ハ、是彼見也、古今集の序ハ、八色の雲の立を見、ふど書きせ、ハ、此記の此件ハ、蛇足を加、た、る、猶次ハ、云、○夜久毛多都ハ、出雲の枕詞にて、荒木田久老、ガ、弥組立と云、る、み、從ふべし、其ハ、藻の弥、籠り、々、生立と云、る、倭建命の御歌ハ、夜都米佐須、伊豆毛多都流、じよ、流、つ、る、も、弥津芽刺藻と、つ、た、る、万葉三、ふ、も、八雲刺、とも、何、り、ハ、雲ハ、借字にて、意ハ、上、ふ、お、ふ、續紀十一、ふ、八裳刺、曲、と、云、る、見、也、彌津藻、ます、く、是、ら、の、ハ、裳ハ、ハ、雲の畧と云、夜都米も、ヤツクモの、モをメ、通、も、ツクモツと切、ふ、ど、の、俗説ハ、聞、も、胸、ろ、ろ、ハ、雲九、雲ふど、云、づく、も、あ、る

ず、且、阿行の母字、ハ、ら、む、を、て、切、ち、り、の、格、ふ、き、を、思、へ、○伊豆毛夜幣賀岐ハ、出雲八重垣、叔伊豆毛ハ、五十津藻、ふ、づ、彼、国ハ、殊、ハ、海藻を多産、崇神紀、ふ、も、止、屋、淵、ハ、菩、の、美、く、生、た、る、見、を、く、海、川、と、も、藻、の、お、ゆ、り、是、バ、国、名、と、ふ、る、ハ、此、ら、む、其、も、木、の、多、う、る、国、を、本、国、と、云、黍、粟、等、の、よ、く、實、の、る、と、吉、備、国、阿、波、国、と、云、る、准、て、知、づ、ハ、加、く、古、より、御、哥、の、夜、久、毛、多、都、を、弥、雲、起、と、思、へ、る、り、ハ、国、名、を、出、雲、と、書、出、て、其、頃、ハ、い、ふ、り、イ、ヅ、モ、と、濁、音、ハ、呼、ぶ、ら、一、そ、ら、む、自、然、の、詞、を、自、然、の、義、ハ、叶、む、ハ、出、雲、の、雲、字、を、雲、と、よ、む、づ、き、理、ふ、ハ、是、ハ、雲、の、ク、を、畧、り、と、云、む、く、を、畧、例、あ、り、又、出、雲、の、テ、グ、の、切、と、云、む、う、然、及、切、あ、る、予、ふ、ハ、い、ら、不、見、也、此、文、字、ハ、作、配、た、る、ふ、め、は、バ、イ、ツ、モ、と、ハ、よ、く、グ、た、り、式、ハ、山、城、国、愛、宕、郡、出、雲、井、於、神、社、出、雲、高、野、神、社、大、和、国、山、邊、郡、出、雲、建、雄、神、社、丹、波、国、桑、田、郡、出、雲、神、社、周、防、国、佐、婆、郡、出、雲、神、社、伊、豫、国、温、泉、郡、出、雲、尚、神、社、等、ハ、出、雲、国、ニ、由、り、名、と、聞、ゆ、る、ハ、未、あ、り、叔、夜、幣、賀、岐、ハ、八、重、垣、不、て、垣、と、ハ、壁、を、云、て、ヤ、ダ、て、官、作、の、予、ふ、も、通、り、其、も、次、ハ、阿、夜、加、岐、と、青、柴、垣、と、あ、る、処、ハ、云、を、見、る、づ、○都、麻、碁、微、爾、ハ、妻、籠、ふ、ふ、籠、る、コ、ミ、の、延、語、ふ、る、を、や、○夜、幣、賀、岐、都、久、流、ハ、八、重、垣、造、る、よ、て、打、ら、ハ、歌、ハ、終、つ、る、ふ、久、終、の、表、ハ、歎、息、の、辞、にて、あ、ふ、ふ、や、ハ、表、登、古、表、の、表、と、同、義、ふ、り、○首、ハ、大、人、ハ、於、是、喚、其、足、名、推、神、告、言、汝、者、任、て、此、の、尸、云、

○古事記標注上卷之中

子も同義あり、ワガ我宮之首、且負名號、稲田宮主、須
 爰ハ此宮の長官を云、○稻田賀之八耳神、故其櫛名田比賣以
 耳神、記傳、稻田之須賀地、舊名あり、と云、須賀ハ
 大原郡あり、主ハ右の首、當き、バ、官号を稻田宮と稱せ、八耳ハ、紀ハ八箇
 耳、作、神名人名、何耳、或ハ畧きて美とのとも云、惣て物を聞洩さぬ、意の
 称名、久美度、起而、所生神名、謂八嶋
 士奴美神、自、士、下、三字、以、音、下、效、此
 久美度、通起而、所生神名、謂八嶋
 又娶大山津見神之女、名神、大市
 比賣、生子、大年神、次、宇迦之御魂
 播磨を、御名、大和、○大市比賣、是ハ地名、不、よ、ま、
 下を、り、を、ま、き、坐、る、時、不、速、祖、ふ
 故、不、如、斯、称、一、不、や、と、云、り
 故、不、如、斯、称、一、不、や、と、云、り

諸国、大市、て、
 二、柱、宇、迦、
 二、字、以、レ、音、
 諸国、大市、て、
 二、柱、宇、迦、
 二、字、以、レ、音、

諸国、大市、て、
 二、柱、宇、迦、
 二、字、以、レ、音、
 諸国、大市、て、
 二、柱、宇、迦、
 二、字、以、レ、音、

を阿母とよみ、
 るもおまじ、
 をア子と云、ア
 も准てよ、扱漢
 国、父を阿翁母を阿母、兄を阿兄、弟を阿弟、姪を阿姪と云、も、阿不親との
 軽らまば、皇国と専ら同義あり、を此阿字、小、理屈を附して、説くハ非事、○木花
 知流比賣、よの知流、了、更、禰、一、に、ぬ、御、名、あり、記、傳、不、壯、く、一、て、身、亡、び、つ、る
 ぶや、と云、○布波能、母、逢、久、奴、須、奴、神、名、義、考、あり、○淤迦美神、ハ、上、不、開、淤、加
 美、と、あり、処、不、委、注、り、淤、迦、美、ハ、大、蛇、あり、○日河比賣、ハ、地、名、よ、ま、ま、御、名、久
 式、不、武、藏、国、足、立、郡、氷、川、神、社、大、和、志、云、吉、野、郡、檜、川、莊、あり、○深淵之水夜禮花
 神、の、深、淵、云、縣、居、翁、の、説、不、次、不、係、る、枕、詞、と、云、る、と、云、る、と、云、る、と、云、る、水、ハ、御、母
 の、御、名、花、ハ、御、祖、母、の、御、名、よ、れ、り、と、記、傳、不、云、り、夜、禮、ハ、思、ひ、え、ず
 ○天之都度開、**此神、娶、天、之、都、度、開、知、泥、上、神、自**
 知、泥、神、名、義、考、**此神、娶、天、之、都、度、開、知、泥、上、神、自**
 下、五、字、**生子、淤、美、豆、奴、神、**
 ○淤美豆奴神、**以、音、**
 出、雲、風、土、記、云、**此神、娶、布、怒、豆、怒、神、**
 ハ、東、水、臣、津、野、**此神、娶、布、怒、豆、怒、神、**
 以、音、**此神、名、之、女、**

命の御名を襲
 沿つり、然、例、お
 り、まの、臣、津
 野、命、も、ツ、又、と
 濁、て、よ、む、べ、い、同、書、出、雲、郡、條、不、意、美、豆、努、命、も、作、れ、く、む、○布怒豆怒神、布
 怒、ハ、和、名、抄、不、備、後、国、三、次、郡、郷、名、布、努、と、あり、地、不、由、何、も、御、名、久、豆、怒、ハ、般、不
 て、建、き、意、あり、べ、い、○布帝耳神、布帝考、あり、耳、ハ、稱、た、り、○冬衣神、紀、不、葦、根
 神、不、作、き、葦、も、冬、も、大、刀、を、振、り、ふ、て、其、を、應、神、段、不、母、登、都、流、藝、須、惠、布、由、と
 あり、処、不、注、べ、い、衣、の、キ、を、刀、物、の、名、ふ、て、斧、劍、の、キ
 ぐ、又、と、二、不、通、を、親、む、詞、う、ゆ、く、主、ふ、も、阿、ら、づ、べ、い
 ○刺国大神、和、**此神、娶、刺、國、大、上、神、之、女、名、刺、國**
 名、抄、不、但、馬、国、**若、比、賣、生、子、大、國、主、神、亦、名、謂、大**
 美、舍、郡、佐、須、郷、**穴、牟、遲、神、牟、遲、二、亦、名、謂、葦、原、色**
 阿、上、代、郡、郷、**許、男、神、色、許、二、亦、名、謂、八、千、矛、神**
 を、も、目、と、云、一、
 例、阿、上、代、郡、郷、
 を、バ、国、大、と、續、
 くる、や、う、ふ、よ、

○古事記標注上卷之中

○三十三

むべし、上聲の注河さバあり、亦名、謂宇都志國玉神、宇都志三

ハ、御父不對、た并有五名

○刺国若比賣、御名く○大國主神、國主とハ、上代大、小、不、相、ら、ず、其、地、を、主、と、り、神、を、國、主、と、ハ、云、り、む、神、代、紀、不、國、主、事、勝、國、勝、長、狹、と、見、西、播、磨、風、土、記、不、汝、為、國、主、欲、得、吾、野、宿、之、處、よ、と、丹、生、姫、記、不、豐、耳、命、娶、國、主、神、女、と、あり、是、ハ、人、世、と、あり、て、目、造、と、云、り、ふ、お、ふ、と、斯、ま、バ、各、國、の、國、主、等、を、惣、掌、り、長、ふ、坐、し、也、大、國、主、と、ハ、稱、せ、り、下、不、意、禮、為、大、國、主、神、と、須、佐、之、男、命、の、宜、移、ら、し、を、思、ふ、づ、一、○大、穴、牟、遲、神、大、八、尊、稱、と、穴、を、借、字、ふ、て、親、む、詞、牟、八、御、の、轉、ふ、て、遲、ハ、彦、男、の、男、不、り、汝、字、を、ナ、ム、チ、と、よ、め、り、も、同、義、同、語、な、り、故、不、播、磨、風、土、記、神、祇、令、義、解、万、葉、三、又、六、等、不、大、汝、と、書、き、同、七、不、大、穴、道、と、書、り、是、ハ、古、唱、の、儘、の、正、訓、な、り、然、不、史、及、式、等、不、大、名、持、大、穴、持、大、奈、母、智、大、奈、牟、智、ふ、ど、書、り、を、記、傳、不、大、穴、牟、遲、と、此、記、不、書、り、不、效、て、大、名、持、等、を、悉、オ、ホ、ナ、ム、チ、と、濁、音、ふ、よ、と、り、て、同、義、不、説、り、ハ、い、も、ト、き、非、事、也、抑、大、奈、母、智、と、申、す、名、義、ハ、大、地、持、ふ、て、持、と、ハ、其、地、を、知、有、つ、意、あり、東、國、不、て、里、長、を、ナ、ム、シ、と、云、り、地、主、あり、又、村、内、の、地、所、を、集、奇、た、る、書、を、何、國、不、て、も、ナ、ヨ、七、帳、と、云、り、地、寄、帳、あり、又、地、震、を、ナ、井、と、云、侯、伯、を、大、名、小、名、と、云、り、も、大、地、小、地、を、預、掌、る、よ、一、の、名、を、り、斯、ま、バ、大、穴、牟、遲

と、大、穴、持、と、ハ、義、理、格、別、あり、予、を、知、づ、一、○華、原、色、許、男、神、華、原、八、万、國、不、涉、き、る、惣、名、あり、此、神、外、國、を、經、營、終、り、一、予、文、德、實、錄、不、見、迄、た、ま、バ、御、名、不、華、原、と、ハ、負、奉、り、く、色、許、男、ハ、播、磨、風、土、記、不、志、許、乎、不、作、り、舊、事、紀、も、お、ふ、ト、此、色、許、ハ、醜、女、鬼、草、等、の、醜、と、を、別、義、不、て、深、疑、の、畧、あり、其、ハ、國、作、不、御、心、を、深、き、せ、某、業、不、疑、不、意、あり、づ、一、万、葉、七、不、買、師、翁、之、商、自、許、里、鴨、同、十、二、不、思、咲、八、更、々、思、許、理、來、目、ハ、面、ふ、ど、を、畧、解、不、も、志、を、よ、る、の、意、也、と、注、せ、り、○八、千、矛、神、字、の、如、し、此、神、健、坐、せ、き、バ、武、器、を、も、數、お、は、く、藏、路、つ、う、と、く、○宇、都、志、國、玉、神、ハ、顯、國、靈、也、諸、國、不、て、國、を、作、終、む、一、神、を、國、玉、と、稱、せ、り、予、例、お、は、し、一、○五、名、と、イ、ツ、ミ、ナ、と、訓、べ、し、○避、と、ハ、諾、サ、レ、ド、モ、三、十、ク、ニ、オ、ホ、ク、ニ、ヌ、シ、ノ、カ、ニ、ニ、エ、サ、カ、ワ、ル、ヒ、て、讓、り、意、あり、○然、皆、國、者、避、於、大、國、主、神、所、以、避、者、其、八、十、神、各、有、欲、婚、稻、羽、之、八、上、比、賣、之、心、共、行、稻、羽、時、於、大、穴、牟、遲、神、負、佩、爲、從、者、率、往、於、是、到

○古事記標注上卷之中

の役もて、八十
神の従者とあ
り、多ハ、因幡国の
郡名○裸ハ、字
鏡集、類聚名義
抄等ハ、ハダカ
と注サリ、和訓
采ハ、裸ハ、膚明
カハ、コトハ、カセニ
カハ、コトハ、カセニ
カハ、コトハ、カセニ
氣多之前時、裸菟伏也、爾八十神、
謂其菟、云汝將爲者、浴此海鹽、當
風吹而伏高山尾上、故其菟從八
十神之教而伏爾其鹽隨乾其身
皮悉風見吹拆故痛苦泣伏者最
後之來、大穴牟遲神見其菟言何
由汝泣伏菟荅言、僕在淤岐嶋、雖
欲度此地、無度因故、欺海和邇、此
言吾與汝競、欲計族之多

尺甚利、齒和名
和仁とあり○
欲計ハ、字の儘
をクラベテム
と、よめるハ非
くクラベトハ、
彼と是と並ぶ
る時、あつてハ
云ハズ○隨其族
在云々、万葉六
不皇之引乃真
爾真荷とあり
子、語勢似たり
扱族とハ、明族
ふて、族とハ、親
族家族兄弟ふ
どのカラく○
小故汝者、隨其族在、悉率來自此
嶋、至于氣多前、皆列伏度、爾吾踏
其上、走乍讀度、於是知與吾族孰
多如此言者、見欺而列伏之時、吾
踏其上、讀度來、今將下地時、吾云
汝者、我見欺言、竟即伏最端和邇、
捕我悉剥我衣服、因此泣患者、先
行八十神之命、以誨告浴海鹽、當
風伏、故爲如教者、我身悉傷、於是

讀ハ數ハ事
 共ニ、常ニ云、語
 多トド、西国ニ
 テハ數トハ云、
 ゴ○衣服記傳
 小毛の解る皮
 云、是ハ人
 小准、衣服と
 云、るりとあり
 ○蒲黄ハ、醫心
 方、本草和名等
 小、加末乃波奈、と注せり、是ハ今火叶、作るものにて、金瘡を治むるハ、妙之、
 と云、り○輾轉、コイトハ、臥伏して、万葉不例おほし○素菟、按小毛物ハ、皮を剥
 くと、膚ハ白きと云、故シ口菟トハ云、り此古事ども、壘添塩囊抄第二不引々
 了、因幡記、と云書、小詳々○菟神、記傳追考、因幡国高草郡の海邊、内海村、白
 菟社とて、今ハ高草郡おまきと、氣多郡ニ並て、氣多崎の内あり、と云、り、年治
 云、よの菟の言語を、世ふつふう、らやむ人、おろきハ、腐儒らが併ふて、古傳

大穴牟遲神、教告其菟、今急往此
 水門、以水洗汝身、即取其水門之
 蒲黄、敷散而、輾轉其上者、汝身如
 本膚、必差、故爲如教、其身如本也、
 此、稻羽之素菟者也、於今者、謂菟
 神也

の正しきを、知らざる痴心之、絶ふも此件の、故事を洩せるも、心得ぐくまらず
 り、抑世の漢學者どもハ、漢籍ニハ、斯る何や、さうハ、おしと思へり、彼國の
 世々の、史と云、そのを見よ、其、ガトある、五行志ニハ、鳥獸木石どもの、言語を記
 せらる、引、邊り、既、不東國通鑑六、兔の龍を欺き、古傳を載せて、此件
 不傳、た、古事と、甚、よく相類、た、を見よ、然、不彼、ふ、を、
 信、ち、是、を、疑、ふ、り、穴、を、お、ま、り、も、腹、た、し、き、ら、も
 ○不聞ハ、兼引
 ぢ、る、く、○伯伎
 ハ、伯耆国あり、
 惣て、加行、入聲
 の字ハ、波行ハ
 韻、九例あり、故
 小、伯、を、伯、と、よ
 め、是、此、國、の、名
 義、を、職、原、抄、首
 書、小、引、り、伯
 耆、風、土、記、云、手
 摩、乳、足、摩、乳、娘

吾者不聞汝等之言、將嫁大穴牟
 遲神、故爾八十神怒、欲殺大穴牟
 遲神、共議而、至伯伎國之、手間山
 者、必不得八上比賣、雖負、汝命
 故其菟、白大穴牟遲神、此八十神
 獲之、於是八上比賣、答八十神言、

○古事記標注上卷之中
 ○三十六

猪田姫、八頭之モトニ木云赤猪在此山、故和禮此二字以音。蛇欲吞之、故追。入山中、于時母ドモ共追下者、汝待取、若不待取者、必オホキ來云々、故号。母ハハ將殺汝云而、以火燒、似猪大石、而マロバシ轉落、爾追下取時、即於其石、所燒オトシキハ信、ぐくま書。ハハあまきど、因オヒ追下取時、即於其石、所燒オトシキハ引、のこ、○手ミツセキ著而死。間山、和名抄、伯耆國會見郡、天萬郷、何り、○赤猪ハ、猪ニ似たる石を、火を以て赤く、焼たるをり、○和禮ハ我あり、是ハ阿の一言よりおろりて、和ふ轉し、後之、又等を加て、遂ニ跡語と云せり、故ハ吾も吾之、吾ハ吾等あり、我汝准へて云ふべし、○追下ハ、石ハあまきど、猪といへる、追くどと、取時ハ、大穴遲遲神の、取時オホキをくえへて心得べし。

○御祖命ハ、大ミコト爾其御祖命、哭患而、參上于天、請オヤノミコトナキウレヒテマキノボリテアメニマシラ祀年遲神の御

母、ふて、刺目若カミ神産巢日之命時、乃遣蜚貝比賣ヒメ比賣、○蜚貝ウミギ與蛤貝比賣、令作活、爾蜚貝比賣ヒメ比賣、蠶字詳ふ。らねど、岐佐宜キササ岐佐宜キササ此三字。集而、蛤貝比賣ヒメ持モチ訓、小従ひつ、大オホ水而、塗母乳汁者、成麗壯夫ウツコ訓、壯和本草、小、蜚ハハシキ表等。而、出遊行、於是八十神見、且カミ名魁蛤、又名瓦カミ古。而、遊行、於是八十神見、且カミ蜚子、其殼瓦屋カミ欺率、入山而、切伏、大樹、茄矢打立カキニ似タリ、其肉ウツコ其木、令入其中、即打離其冰目矢ヒメニ血アリ、と云カミリ、○蛤貝比賣、和名抄、小海蛤ウチコロシキ而、拷殺也。一名魁蛤、字無ウチコロシキ木乃加比、と注せり、本草和名もかち、本草小海蛤者海中諸蛤爛散之總稱、あるは、今云貝殼あり、是、白蛤不覺、景行紀、上総海あり、自蛤為膽とあり

是バ、今の蛤ハ何れト、此白蛤ト云ルハ、石決明ノ別名ナリ。然ハ和名抄
 小海羊藿ヲ、宇無木奈ト云ルハ、葉ノ形、石決明ニ似ラズ。且上懸ノ海ナリ。石
 決明を産セシマ、蛤貝比賣ノ上ニ、白字脱ナリ。ガ、火傷を療むるハ、石
 決明枝末ヲ附テ、妙ト云リ。○今作活ノ作トハ、死極たりトシテ、新ニ作立
 フ。意チ久ク活をイケト、云ルハ古言ク、活ト活ト、と活用格ナリ。ヤ○岐
 佐宜ト、刻削ナリ。刻をキサト、潤ルハ後チ久、蠶貝ノ名也。刻ニナリ。黒筋ナリ。を
 以テ、名トナシ。象をキサト、云ルハ、牙ニ刻ニテ、也。名ク、階も同義。惣テ清音ニ
 よむ。一、字鏡集、類聚名義抄、色葉字類抄等ニ、鑄字をキサゲト云ルハ、岐佐宜
 小おま、ドウズ。○母乳汁ノ母モ、乳養ノ稱。乳汁モ字ノおト、扱蠶貝比賣
 蚌貝を鑄イ末ニ集メ、蛤貝比賣、白蛤ノ汁ニテ、練リ、乳汁を塗ル如
 く、塗、治ムト云リ。出雲風土記ニ、神魂命、御子、支佐加比比賣命、又神魂命、御子、宇
 武賀比比賣命ト見ユ。是バ、此神等ノ、削テ、瘡メ、治ム。貝等ノ名ハ、即此神等
 ノ、御名を負セ、呼初ト云。○茹矢ノ茹モ、字書ニ食也ト注セリ。茹矢ト訓ズ。記
 傳ニ、茹矢ト云ルハ、非チ然テハ、打立其木ト、同義ノ重ク、二度打食ル。おト、
 聞ク。是バ、あり。○今入其中モ、大穴半建、神を木ノ割目ニ、扱む
 を云。○氷目矢ハ、むも。是目ニ、打立ツ。矢ニテ、右ノ茹矢を云。
 ○木目ハ、紀伊
 爾亦其御祖命、哭乍求者、得見即
 目あり、紀、字、ハ、カレ、マク、ソ、ノ、オヤノ、ミコト、ナキ、ツ、マ、ケ、バ、エ、テ、ミ、ス、チ、チ

改タ、ハ、和銅
 六年ノ御制ニ、
 伊、字、を、加、た、り、
 ハ、氏部式ニ、用
 ニ、字、必、取、嘉、名、
 と、出、出、終、つ、
 即、和、銅、ノ、格、ニ、
 り、を、式、ニ、追、記、
 せ、
 ○大屋
 昆古神ハ、舊事
 紀、五、十、猛、神、亦、云、大、屋、彦、神、ト、云、リ、五、十、猛、神、ハ、須、佐、能、男、命、ノ、御、子、ナ、レ、バ、録
 何、和、名、抄、ニ、紀、伊、國、名、草、郡、大、屋、郷、あり、式、ニ、同、郡、大、屋、都、比、賣、神、社、モ、見、也、此
 神、ノ、坐、せ、
 〇大屋
 し、扱、目、生、竟、多、
 云、〇漏、逃、ハ、字、ノ、如、
 を、和、玉、篇、ニ、カ、ヤ、ク、ダ、リ、ト、訓、リ、然、モ、ク、ダ、リ、モ、漏、ノ、延、語、
 〇根、堅、洲、目、比
 根、ハ、黄、泉、段、
 御祖命、告子云、可參向須佐能男

注、大根嶋下、命、所坐之根、堅洲國、必其大神議
 て、是を根、目と、也、故隨詔命而、參到須佐之男命、
 八片、隅目あり、隅を畧て、游と、
 云、ハ、出雲風、之、御所者、其女須勢理毘賣、出見
 土記、天、日、杵、爲、目合而、相婚、還入、白其父、言甚
 官とあるを、紀、麗神來、
 小天、日、隅宮、作、此、地、ハ、麗神來、
 西北、小片、寄、ま、り、也、名、片、隅、目、と、ハ、云、り、○須勢理毘賣、名、義、詳、あ、り、ず、大、夜、詞、小、
 根、目、底、之、國、爾、坐、速、佐、須、良、比、咩、登、云、神、と、あ、り、ハ、決、て、此、神、あ、り、づ、一、因、云、底、之、
 目、と、ハ、極、て、遠、所、を、云、名、お、て、地、底、と、云、ハ、あ、り、ず、○為、目、合、ハ、字、の、如、く、メ、ク
 ハ、セ、テ、と、よ、む、づ、一、此、語、常、ハ、云、り、少、き、也、ハ、千、俣、お、も、洩、せ、り、目、合、せ、目、合、を、
 る、と、活、用、く、語、く、空、穗、藏、開、ハ、大、將、小、御、目、く、も、せ、て、と、持、り、小、よ、ほ、せ、終、ハ、源、氏、
 若、菜、ハ、加、た、ち、り、い、と、と、目、く、も、す、と、聞、も、い、ま、ず、後、拾、遺、集、ハ、つ、づ、ま、り、海、
 士、の、所、り、を、を、ま、ぬ、う、せ、や、め、い、ふ、あ、り、や、目、を、く、も、せ、り、伊、勢、物、語、ハ、目、く、
 も、せ、よ、と、も、た、の、ゆ、あ、り、り、云、々、猶、多、う、久、浦、島、子、傳、ハ、合、眼、を、メ、ク、ハ、ス、と、よ

め、互、互、目、と、目、を、見、合、せ、情、を、通、も、り、て、契、る、意、お、て、嫁、む、ハ、あ、り、ず、文、選、雜、
 騷、九、歌、ハ、美、人、忽、獨、與、余、兮、目、成、云、々、呂、延、濟、注、ハ、相、目、結、成、親、親、と、何、を、も、思、
 ふ、べ、一、無、仁、紀、ハ、阿、羅、斯、等、大、嶽、之、欲、合、と、あ、り、ハ、交、通、を、云、り、
 ○蛇、ハ、ヲ、ロ、チ、と、よ、む、づ、一、
 仁、紀、ハ、ハ、小、蛇、を、も、よ、め、ま、さ、バ、
 大、小、小、勝、を、も、名、を、も、む、○蛇、
 比、礼、舊、事、紀、十、種、神、寶、の、中、ハ、蛇、比、礼、蜂、比、礼、
 何、ハ、比、礼、と、ハ、打、振、る、と、の、名、と、聞、由、○夫、
 名、の、末、ハ、日、子、遲、と、も、比、古、遲、
 爾、其、大、神、出、見、而、告、此、者、謂、之、葦、
 原、色、許、男、即、喚、入、而、令、寢、其、蛇、室、
 於、是、其、妻、須、勢、理、毘、賣、命、以、蛇、比、
 禮、二、字、授、其、夫、云、其、蛇、將、咋、以、此、
 比、禮、三、舉、打、撥、故、如、教、者、蛇、自、靜、
 故、平、寢、出、之、亦、來、日、夜、者、入、吳、公、
 與、蜂、室、且、授、吳、公、蜂、之、比、禮、教、如、
 ○古、事、記、標、注、上、卷、之、中、
 ○三、十、九

ともあり、イヤキ、ユエニ、ヤスク、イデマシキ、マタ、ナリカブラテ、イイレテ、オホ、ヌ
あり○其公ハ、**先故、平出之、亦鳴鏑、射入大野之**
蟬蛇の扁を省、ナカニ、シエフトラ、ソノ、ヤチ、カレ、イリマス、ソノ、ヌニ、ムキニ、スハチ、モテ、ヒ
々々ハ、オテ、向手**中、令採其矢、故入其野、時、即以火**
の義、く、○鳴鏑、マダシヤカシエラ、ソノ、ヌヤ
云々神代絶、ノ、ヌヤ**迴燒其野、於是、不知所出之間、鼠**
ハ、目、鳴鏑、ト、オ、キテ、イヒケダク、ウチ、ハ、ホ、ラ、ホ、ラ、
り、**來云、内者富良富良、**以、此、四、字、**外者**
テ、射るとき、ノ、ス、ブ、ス、**須夫須夫**以、此、四、字、
鳴、く、の、ろ、の、形、ハ、**須夫須夫**以、此、四、字、
燕、菁、の、根、の、ぶ、と、一、故、名、づ、く、め、り、○、富、良、富、良、を、洞、々、と、下、し、洞、穴
ありとく○須夫須夫も、火の燃來つゝ、音あつくと聞ゆ、記傳ふハ、響々として、洞の
上方ハ、響々たりと云り、叔鼠の斯く亦一鳴一奉る
おも、此大神の尋常の神不坐ざりト多を思ふづー

○皆契也ハ、字の如くふ
る、べ、一、親、鼠、ハ、**來而奉也、其矢羽者、其鼠子等、皆**
上、も、内、者、富、良、富、良、と、云、**契也、於是、其妻、須世理、毘賣者、持**
て、扶、奉、る、**卷具而哭來**
ハ、爲、す、一、限、の、功、を、盡、さ、む、ハ、諾、ま、ら、ぬ、業、も、さ、し、と、見、鼠、等、ハ、其、弁、を、と、天、羽、も、契、也
らしたると云、るふて、人間の上も、おふト理ありと云、然れニ、記傳ふ、鏑ハ重
々さバ、親鼠持ち、羽の輕方ハ、子鼠等の助け、乍持來と、説き、然ハ、聞、さ、ず、親鼠
の、鳴、鏑、を、乍、持、と、何、も、ふ、て、羽、も、籠、ま、り、後、世、鼠、を、大、目、主、神、の、御、使、と、云、ら、ハ、

○古事記標注上卷之中

○四十

時、既、其、制、何、り、々、む、委、古、葬、徴、不、記、一、つ**其父大神者、思已死訖、出立其野、**
○思、已、死、訖、の、ソ、ノ、チ、ノ、オ、ホ、カ、ミ、ハ、オ、ホ、シ、テ、ス、テ、ニ、ミ、ク、セ、ヌ、ト、イ、デ、タ、セ、バ、ソ、ノ、ヌ、ニ、
毘、賣、の、下、も、在、**爾持其矢以奉之時、率入家而喚**
一、ダ、錯、き、一、ム、**入八田間大室而令取其頭之鼠、**
ヤ、ア、ハ、タ、ノ、マ、ノ、オ、ホ、ム、ロ、ヤ、ニ、テ、シ、メ、玉、キ、ト、ラ、ソ、ノ、ミ、カ、シ、ラ、
や、あ、む、記、傳、**入八田間大室而令取其頭之鼠、**
ふ、く、は、く、苦、一

め試ミ修ムコ、カレ
燒竟るまで、來
坐ぬを、心もと
ちく出立路、
状云、然も
何、べー○ハ
田間を、八面間
ふて、間とハ柱
と、柱の間ふて、
八方を表とせ
、家造あり、面
ふ多うきバ人も
例おほし、此赤土
、扱赤土と、椽子
ツ、吐、吐、と、
て尻むると云、
○椽ハ和名抄
み、太流岐とあ

故爾見其頭者、吳公多在、於是其
妻、以牟久木實、與赤土、授其夫故、
咋破其木實、含赤土、唾出者、其大
神、以爲咋破吳公、唾出而、於心思
愛而寢
、家造あり、面ハ後面前面の、田ハ轉たらく、○牟久木實ハ、椽子あり、此木ハ世
ふ多うきバ人も知まら、由名注、○赤土神代紀、以、楯塗掌云々、猶万葉等ハ
例おほし、此赤土を、ハニとよむた、ハ非く、ハ一とハ、黏土の多ふて、赤義ハ不
、扱赤土と、椽子とを舍えて、吐出せば、吳公を齧碎きたる、状不似たり、○唾の
ツ、吐、吐、と、の音を云、尻と云も、其音、あ、を、や、が
て尻むると云、久、歐吐をへトツクと、云も、お、あ、
○椽ハ和名抄、コ、ニ、トリテ、ソノ、オホカ、ミ、
み、太流岐とあ、コ、ニ、トリテ、ソノ、オホカ、ミ、

利木と注せり、
垂木五れバ、此
方よろし、○生
大刀の生ハ、美
た、稱、大、刀
ハ、斬、截、意、是、ハ
大神の、殊、不、重
○天詔琴の、天
ハ、稱、名、之、前、後
天上、あ、る、ぬ、も
のを、天云々と云、
、詔琴と云、と、云、
り○比良坂、上
み注せり、○遙
望、字鏡集、色葉
字類抄等、小、遙

而、五百引石、取塞其室戸、負其妻
須世理毘賣、即取持其大神之、生
大刀、與生弓矢、及其天詔琴而、逃
出之時、其天詔琴、拂樹而、地動鳴、
故其所寢、大神聞驚而、引仆其室、
然解結椽髮之間、遠逃
、字鏡集、色葉、字類抄等、小、遙
○古事記標注上卷之中
○四十一

をトホシ、と注
 刀、生弓矢以而、汝庶兄弟者、追伏
 遊仙窟、手枕易、坂之御尾亦追撥河之瀬而、意禮
 途遙、まきし、造ニ
 以レ音字為大國主神、亦為宇都志、國
 此造、字を、ハロ
 玉神而、其我之女、須世理毘賣、為
 於底津石根、宮柱布刀斯理、此
 於高天原、冰椽多迦斯理、此
 而居、是奴也
 皇極紀、波波
 魯魯爾、渠騰曾、枳樂、喻屢、万葉五、波漏、波漏爾、同廿五、波呂、波呂、とある、魯漏
 呂を、口の音、よよとまらぬ、ハロ、とある、誤り、あり、まの魯漏、呂ハ、何とも、

ハとよむ、日本後紀、廿四、自古行來、魯事、類聚、國史七十五、和主、黎、多、魯
 羅米、云々、以上、魯とよむ、兵音、景行紀、夜摩、苦之、于漏、破、試、とあり、是も漏
 とよみて、兵音、靈異記、及、呂、可、美、縁、丘、廣成、式、他、麻、能、美、須、麻、呂、能、云々
 以上、呂とよみて、古音、此外、ハル、ハル、ケシ、とある、ハロ、ハロ、ケシ、と云
 すと、云、つるも、韻學、不、聞、き、業、不、其、起、処、ハ、鈴、舍、翁、の、誤、り、を、誤、ま、つ、る、○、御
 尾の御ハ、御路、御嶺、の、御、あり、尾ハ、丘、とて、山の引、も、つ、たる、処、を、云、○、意、禮、ハ、神
 代紀、敏、達、紀、ハ、你、字、を、よ、神、武、紀、ハ、爾、字、を、よ、鉄、例、の、訓、注、あり、此、記、ハ、意
 禮、と、云、又、四、処、あり、已、と、云、予、不、て、汝、の、意、○、嫡、妻、字、鏡、不、嫡、卒、加、比、女、と、注、せ
 り、對、奴、○、宇、地、能、山、和、名、抄、不、出、雲、田、出、雲、郡、宇、賀、鄉、あり、同、國、風、土、記、不、同、郡
 宇、加、社、も、見、也、此、地、あり、○、於、底、津、石、根、云々、記、傳、不、上、代、地、を、掘、て、柱、を、立、る、故
 不、此、標、辭、あり、石、椽、ハ、地、底、不、本、より、あり、石、根、まで、深、く、掘、て、立、ると、云、義、之、と
 云、年、治、云、此、標、辭、ハ、祝、詞、の、常、を、其、義、を、委、説、たる、を、聞、り、ず、万、葉、一、ハ、秋
 津、乃、野、辺、爾、宮、柱、大、敷、座、波、と、あり、ハ、全、此、段、の、語、不、お、ま、ト、是、ハ、本、ハ、御、殿、を、造
 り、終、ふ、と、て、其、柱、を、大、く、と、云、保、々、布、カ、ハ、尊、辭、を、是、バ、末、を、大、掌、と、結、べ、り、大、掌
 と、ハ、新、き、大、官、不、坐、て、其、所、を、知、食、る、を、文、不、續、々、たる、古、文、の、妙、あり、不、眼、を
 着、べ、○、於、高、天、原、ハ、記、傳、不、底、津、石、根、不、對、て、を、高、き、予、を、云、古、言、と、云、り
 ○、冰、椽、ハ、掘、居、一、柱、の、餘、り、て、屋、棟、の、左、右、不、り、木、之、記、傳、不、の、如、く、あり、を

云、手の脈も、此意もて名、んたり、極字ハ、正しく當ぶき、漢字を死故、おとよき
ろ、字を當たりと云り、年治云、氷椽末、水木とも書々り、脈木の畧、て、一名十
木とも云り、多迦斯理ハ、上の布刀斯理におおる、布刀も、多迦も、稱辭あり、○奴
也、ヤッコ、ラマとよむべし、顯宗紀、勅、日僕是也、又、御、齋、僕是也、播磨風土記
云、御、足、末、奴、良、麻、とあり、ラマも助辭、て、目の

○美刀阿多波 故持其大刀弓、追避其八十神之
志都の美刀も 陰門あり、阿多 波志都ハ、令、交、合、み、て、雄、略、紀、ス、與、一、夜、と、あり、不能と云る
ハ、其、及、み、て、神 代、紀、ハ、阿、黨、播、怒、ハ、茂、譽、とも、あり、相、模、集、み、今、も、あ、り、と、
世理毘賣而其所以生子者、刺狹木
期、美刀阿多波志都、此七字故其
八上比賣者、雖率來、畏其嫡妻、須
始作國也、故其八上比賣者、如先
時、每坂御尾、追伏、每河瀬、追撥而、

候而返、故名其子、云木侯神、亦名
謂御井神也
らを以て、阿多波志都、と云、義理を、弁、べし、○率來ハ、引る來、す、を、云、其、ハ、因、幡、より、出、雲、つ、あり、○御井神、記、傳、ハ、此、神、處、々、ハ、井、を、作、り、て、民、の、糧、を、さ、し、り、と、云、り、式、ハ、神、祇、官、坐、座、摩、御、巫、祭、神、五、座、あり、御井神を、も、つ、め、諸、國、あ、も、祭、ま、り、

此八千矛神、將婚高志國之、沼河
比賣、幸行之時、到其沼河比賣之
家歌曰、夜知富許能迦微能、美許
登波、夜斯麻久爾、都麻岐迦泥
豆、登富登富斯、故志能久邇邇、佐
○高志國、和名 抄、み、越、後、目、古 志、郡、阿、り、此、地 前、越、中、加、賀、能 登、を、も、總、た、大、名、と、あ、り、り、
○沼河比賣、和 名、抄、み、越、後、目 頸、城、郡、沼、川、奴

乃加波、式不同
郡、奴奈川神社
許能ハ、八十牙
之ク、〇地微能
美許登ハ、神命
ふて、万葉十九
和、多都民能
可味能美許等と
ルハ、八嶋国あり
とど、神武段ハ、伊夜佐岐陀豆流、延表斯麻加牟とあり、最前だてて、吉をー免む
ク、万葉七、過往人、尔、往卷目ハ方、あどりるふよりて、清音ふよまつ〇登富登
富斯ハ、遠々ー、是ハ出雲より、越目へ、行道の遠きを云、扱遠々きと云て、如斯
云、ハ、長々ー夜、哀ー妹あどりの、例あて一格ハ、〇佐加志賣ハ、賢女あり、仁賢紀
ハ、賢此云左河之、字鏡ハ、嵯峨、佐加志と注せし、山の嵯峨とて、登りかときハ、
人の多智ふりて、測りかときも、同義まきバ、賢愚を、古今集の序ハ、はらー、おろ
りあり、とあるりありとむとあり〇阿理登岐加志或ハ、有、と聞而の、延、たり、
〇久波志賣遠ハ、細女を、万葉ハ、名々を、香々を、花々を、あどむ細字を

加志賣遠、阿理登岐加志豆、久波
志賣遠、阿理登伎許志豆、佐用婆
比爾、阿理多多斯、用婆比通、阿理
加用婆勢

書たり、能行屈、た、意、妙、字を、クハシとよみり〇伎許志豆ハ、上の岐加志
と、同義ふて、聞の延語あり〇佐用婆比爾の、佐ハ發語ふて、夜這ふ、備後風土
記ハ、北海坐志、武塔天神、南海神之女子乎、與波比尔出坐、今昔物語せハ、未、不嫁
程ニ、其邊ノ可然者共、此ヲ夜這フ云々、新撰樂記ハ、近來有夜這人、万葉十三ハ、
長谷小目、夜延為云々、記傳ハ、此用婆比を、呼ありと云、まど、驚らず、今世も、人
志まど、夜、女の寝床ハ、行、を、夜、な、むとハ云、〇阿理多多斯ハ、在、立、あり、万葉ハ、
有、待、有、通、有、渡、有、双、ふ、と、多、ハ、我、身、の、其、所、在、て、の、意、ハ、多、々、斯、ハ、立、の、延、語、〇
阿理加用婆勢を、在、通、む、の、延、語、ふて、勢、ハ、シ、の、古、音、あり、是、を、字、の、は、し、ふ、通、の
延、語、と、て、古、言、の、一、格、の、者、を、添、て、
よ、と、て、大、カ、之、緒、と、云、ハ、續、ラ、ズ
〇多知賀遠母
ハ、大カ之緒也
〇伊麻陀登
加受豆ハ、未解
而、〇於須比
遠母ハ、襲をも
あり、是ハ女服
ひて、式又儀式

多知賀遠母、伊麻陀登加受豆、於
須比遠母、伊麻陀登加泥婆、遠登
賣能、那須夜、伊多斗遠、於曾夫良
比、和何多多勢禮婆、比許豆良比、

帳、万葉等、忍ニ比、押オス比、押日オスヒと書カり、給ルて借字カく、大神宮ニ式ニ、帛、意須比、長二丈五尺、廣二幅、外官儀式帳ニ、長二丈五寸、廣隨幅とあり、五尺の誤リ、と、思ハへど、大神宮ニ式ニ、帛、綿、忍比、四條、各長二丈五寸、とあり、ハ、孰、是、あ、り、む、記、傳、ゆ、え、一、丈、五、尺、と、り、を、引、出、た、り、是、を、女、服、と、云、り、と、云、り、て、万、葉、三、小、手、弱、女、之、押、日、取、懸、と、見、色、惣、て、古、書、等、小、衰、立、た、り、時、の、女、の、裝、束、小、見、色、た、り、然、小、仁、德、段、小、波、夜、夫、佐、和、氣、能、美、於、須、比、賀、泥、と、あり、て、速、給、別、之、御、襲、料、ゆ、て、此、件、の、趣、と、を、併、思、ふ、小、上、代、夜、遠、小、行、つ、小、男、の、装、ひ

和ワ何ガ多ク多ク勢セ禮レ婆バ阿ア遠ヲ夜ヤ麻マ通ニ奴ヌ
延エ波ハ那ナ伎キ佐サ怒ヌ都ツ登ト理リ岐キ藝ギ斯シ波ハ
登ト與ヨ牟ム爾ニ波ハ都ツ登ト理リ迦カ祁ケ波ハ那ナ久ク
宇ウ禮レ多ク久ク母モ那ナ久ク那ナ留ル登ト理リ加カ許コ
能ネ登ト理リ母モ宇ウ知チ夜ヤ米メ許コ世セ泥ニ伊イ斯シ
多タ布フ夜ヤ阿ア麻マ波ハ勢セ豆ヅ加カ比ヒ許コ登ト能ネ
加カ多タ理リ其コ登ト母モ許コ遠ヲ婆バ

小、忍、入、り、き、由、名、小、其、時、の、ハ、女、服、を、着、し、と、聞、也、其、着、し、状、ハ、頭、小、被、り、欄、を、裳、と、等、し、と、坐、り、や、う、ふ、ハ、開、也、と、委、キ、リ、ハ、知、難、し、○伊、麻、陀、登、加、泥、婆、ハ、未、解、ぬ、小、の、意、く、古、今、集、小、天、河、あ、さ、瀬、あ、り、濃、た、ど、り、つ、渡、り、て、ね、バ、明、を、志、小、り、も、是、も、渡、り、果、ぬ、小、の、意、く、此、例、万、葉、小、お、ゆ、し、古、言、の、一、格、あり、○遠、登、賣、能、ハ、少、女、之、あり、○那、須、夜、伊、多、斗、遠、ハ、鳴、也、板、戸、を、あ、り、此、鳴、ハ、吹、鳴、笛、撥、鳴、琴、と、云、り、如、く、鳴、を、古、言、小、ナ、ス、と、云、り、開、閉、小、音、も、板、戸、を、の、意、く、○歌、曾、夫、良、比、を、押、を、三、段、延、た、り、語、く、板、延、云、小、隨、ひ、お、の、づ、く、戸、を、押、動、り、す、意、と、あり、○和、何、多、々、勢、礼、婆、ハ、吾、立、ま、バ、の、延、あり、○比、許、豆、良、比、ハ、引、を、三、段、小、延、た、り、語、ゆ、て、板、延、る、小、隨、ひ、て、お、の、づ、く、引、動、り、す、意、と、あり、○上、小、お、あ、ト、是、ハ、押、動、り、し、て、吾、立、ま、バ、引、動、り、し、て、吾、立、ま、バ、の、意、く、○阿、遠、夜、麻、通、ハ、青、山、小、あり、○奴、延、波、那、伎、ハ、延、も、鳴、ふ、り、和、名、抄、小、鷓、怪、鳥、也、沼、江、と、注、す、小、此、鳥、を、洛、東、及、深、山、小、常、小、栖、り、大、地、を、う、り、小、赤、黄、を、ま、黒、魁、何、り、鷓、の、如、く、晝、伏、し、て、夜、啼、ゆ、名、字、鏡、小、鷓、字、を、よ、め、り、此、鳥、の、聲、之、の、淋、く、聞、ゆ、る、ゆ、名、心、も、と、あり、○おも、ほ、し、給、ゆ、○佐、奴、都、登、理、の、佐、ハ、發、語、ゆ、て、野、津、鳥、之、是、ハ、次、小、係、す、枕、詞、○岐、藝、斯、波、登、與、牟、ハ、雉、ハ、響、ふ、て、鳴、聲、の、志、ま、り、ふ、る、を、云、是、を、キ、ジ、と、云、り、畧、く、キ、バ、ス、と、云、り、轉、あり、○爾、波、都、登、理、ハ、庭、津、鳥、ふ、て、枕、詞、あり、○迦、祁、波、那、久、ハ、鷓、ハ、鳴、之、万、葉、七、小、可、鷓、乃、垂、尾、と、何、り、迦、祁、と、ハ、鳴、聲、の、名、と、あり、た、り、ふ、る、べ、し、神、樂、歌、酒、殿、小、鷓、を、か、ん、ろ、と、あ、ま、ぬ、あり、お、き、よ、く、と、何、り、○宇、礼、多、久

母ハ、慨くもふて、心痛あり。○那久那留登理加を、鳴ふる鳥哉。○許能登理母
也、此鳥もふて、雉と難とを指す。然ハ、越の鳥ハ、御心を傷め給ふ。又此鳥
等も、夜明を告るガ、慨くもふて。○宇知夜米許世泥の、宇知ハ、うち寝るの、うちふ
おあつく、添たる詞もて、夜米も止しめむとく、許世泥ハ、社小泥を添て、願詞も
惣て願事を社告す。社字を、コソ小當たり。此社より、許世も、許須とも、
活用る例、万葉多し。○伊斯多布夜ハ、石飛哉。次小係る枕詞も、よの多ハ、
トの古音以て書り、万葉十八ハ、比登加多波半可母、と云ハ、人談むも、
○阿麻波勢豆加比也、記傳ハ、天馳使と云り、此説ふよ。天を馳行、使の如
く、已命の出雲より、遠く來坐せ。子の、速りあるを云。○許登能加多理其登母
ハ、事之語言もふて、事ハ、御塔を指め、語言ハ、此御歌の詞を云。抑上代の
言語を、後世歌と云り、其ハ、二柱大神の、始て宜み、十言の御言を、古今の
序ハ、歌のちとめと云。然バ、歌ハ、古の語言も、古の語言ハ、後世の歌ふ
事、事を曉べ。○許遠婆ハ、是者來て、語言を指せ、此御歌を、
本ハ、一、總體紀、及万葉十三ハ、おあトヤウの、歌見画たり。

○怒延久佐能、爾其沼河日賣、未開戸、自内歌曰、
夜知富許能、迦微能美許等、怒延
元草の女と、つ
げて、あらく

久佐能、賣通志、阿禮婆、和何許許
呂、宇良須能、登理叙、伊麻許曾婆、
和杼理通、阿良米、能知波那杼理
爾、阿良牟遠、伊能知波、那志勢多
麻比曾、伊斯多布夜、阿麻波世豆
迦比、許登能、加多理基、登母、許遠
を云。○伊麻許
曾婆ハ、今社者
あり。○和杼理通、阿良米ハ、騷鳥ハ、有めあり。扱騷きを、古言ハ、ワキと云り。神代
紀ハ、如五月蠅、而沸騰、式の神賀詞ハ、如五月蠅、水沸支、とあり。水ハ、皆の借字ハ
て、沸ハ、騷と、云る。其ハ、万葉三ハ、五月蠅成、騷騷舍人、同五ハ、五月蠅奈周、
佐和久見等、あど、併見て、沸ハ、借字ハ、騷の古言、あど、字を知べ。是ハ、迷を、サ

マヨフと云、守を延、サモラフと云、同格、駿も和岐ハサの、加たる語、
るや、斯きハ駿鳥、今ホ抄ハ、立さ日く、鳥の如く、何まども、の意、然ハ契
沖ハ、是を吾鳥と解、我身を我物とも、意、記傳ハ、和を知、作、
本、千鳥と云、何まも開、
○能知波ハ、後者、
○那柯
理爾、阿良牟遠ハ、平鳥、有、
○伊能知波、命者、
○那志勢多麻比曾ハ、莫死賜
あり、此、俗、復逢、
御歌、見、
○阿遠夜麻通
ハ、青山、
○比賀迦久良
婆ハ、日之隱者
あり、
○奴婆多
麻能ハ、枕詞、
日本紀私記、
鳥扇之寶、
一、鳥扇ハ、一名
を射干、と云、

阿遠夜麻通、比賀迦久良婆、奴婆
多麻能、用波伊傳那牟阿佐比能
惠美佐迦延岐豆、多久豆怒能、斯
路岐多陀牟岐阿和由岐能、和加
夜流牟泥遠曾陀多岐多多岐、麻

那賀理、麻多麻傳、多麻傳佐斯麻
岐毛毛那賀爾、伊波那佐牟遠、阿
夜爾那古斐岐許志、夜知富許能、
迦微能美許登、許登能、迦多理碁
登母、許遠婆

の、万葉、
儀、野、
高、玉、
り、
真、
伊傳、
者、
日、
む、
之、
豆、
お、
雪、
あ、
ト、

夫、扱真和とハ、打くつろぎ落ふ、状を云、○麻多麻傳ハ、真玉手にて、女神の御
 手を云、○多麻傳、佐斯麻岐ハ、玉手差枕ふて、男神不枕、ゆゆし、扱上代女
 ハ、手玉を巻て、踏とせしをヤ、○毛毛那賀爾ハ、契沖分、殿長と云、ふ従、べー
 ○伊波那佐牟遠ハ、記傳ハ、寐音將、宿ふて、遠ハ、そのをと云、意の辭くと云、久万
 葉十九、不安寝、不令宿とも、安宿勿、令寝とも、阿夜、ハ、歎息の辭あり、○
 那古斐岐許志ハ、記傳ハ、分、戀、むさ、と云、むさ、如し、と云て、万葉十三、莫、寝、等
 母、十、巨、野、友、と、
 云、哥を引たり、
 ○嫡后、上代尊
 神の御妻を
 キサキと、申、
 例ハ、多、う、り、
 嫉妬、和名抄、三
 後妻を、宇波奈
 利、と注せり、如、
 深さ、也、名、ブ
 く、り、猶、神、底、
 改、注、べ、い、○
 甚、為、嫉、妬、故、其、日、子、遲、神、和、備、互、
 也、又、其、神、之、嫡、后、須、勢、理、毘、賣、命、
 故、其、夜、者、不、合、而、明、日、夜、為、御、合、
 三、字、自、出、雲、將、上、坐、倭、國、而、束、裝、
 立、時、片、御、手、者、擊、御、馬、之、鞍、片、御、
 足、踏、入、其、御、鐙、而、歌、曰、奴、婆、多、麻、

日子遲神ハ上
 小夫、字とよめ
 里、尊、称、あり、○
 和、備、互、ハ、他、マ
 之、○上、坐、倭、國
 ハ、越、前、より、出、
 雲、小、山、より、出、
 後、ハ、大、和、不、上、
 治、小、山、扱、小、装、
 ハ、京、方、へ、行、を、云、と、云、る、説、也、然、ル、多、
 あ、是、片、隅、國、を、出、雲、より、と、お、の、づ、
 踏、云、り、○久、路、岐、美、祁、斯、遠、ハ、黒、き、
 足、祁、斯、と、云、り、○登、理、與、曾、比、ハ、取、
 内、也、海、不、す、れ、水、際、近、く、ハ、浮、ぬ、
 又、鴨、の、枕、詞、ハ、用、へ、是、バ、有、り、扱、
 那、美、流、登、伎、ハ、胸、見、時、ハ、鳥、ハ、
 り、状、不、見、心、を、御、自、装、ひ、見、
 之、云、多、藝、ハ、揚、ふ、て、た、ぐ、り、
 ○古、事、記、標、注、上、卷、之、中、
 ○四、十、八、

を撥揚り遊ふなり、是ハ著装の跡、袖の端を両手もて引揚見ゆ、○許礼
 婆布佐波受ハ此者不慮あり、源氏紅梅ふさふと云、落久保物語ふ、ふさふさ
 と云、源氏宿木、栄花物語、日蔭のうらうら、等ふふさふさ、うらうら、と云、栄花物語花
 山ふ、ふさふとぬと云、源氏花宴、蜻蛉日記、扱衣幸ふ、ふさふさ、うらうら、と云、
 を、味ひ見らふ、應ぬ、うらうら、よく通き、淡嶋を生、山段、所生之子、不良とあ
 るをも、此不見比べ、其意を得べ、○幣都那美ハ、過津波ふて、磯不係ま、枕
 詞あり、○曾通奴岐守豆ハ、於背脱棄、多背と云、背平、背向ふど、背ふて
 後方へ、脱て棄、多背を云、是を磯不棄ると云、うらうら、いさど、守豆を棄るふ、
 と云、うらうら、高光集ふ、立花の、ありたる枝、不實をとり棄て云
 々、猶御誓敗ふ、吹棄、氣吹之、吹霧とも、うらうら、万葉ふも例多し

○藤通、理能ハ、鵜鳥之子、是を翠鳥とも書き、羽色の青き鳥、うらうら、青の枕詞、ふさふさ、うらうら、下ふ翠鳥、鳥御食人、とあり

蘓 通 杼 理 能 阿 遠 岐 美 祁 斯 遠 麻
 都 夫 佐 通 登 理 與 曾 比 淤 岐 都 登
 理 牟 那 美 流 登 岐 波 多 多 藝 母 許
 母 布 佐 波 受 幣 都 那 美 曾 通 奴 棄

如く、此鳥常ニ水に入て魚を取、俗ニ川蟬と云、漢名を水狗、と云、○阿遠岐美祁斯遠ハ、青、御衣を、○夜麻賀多爾ハ、山上田ふの畧、ふて山島を云、○麻岐斯ハ、蔭あり、○阿多泥都岐ハ、記傳不、菴春うらと、契中が云、り、と記せり、姑、是不從、べ、菴を俗、ニカヅラ、とき、山野に生、根を黄赤色あり、掘て、冰用とま、ゆ、本草和名、菴根をよめり、○曾米紀賀斯流通ハ、記傳不、深木之汁、ふさふ、木とハ、植物の、惣名ふて、草ふも、涉り波岐、乎岐、須々、伎ふど、草ふも、伎と、云、と云、り、○斯米許呂母ハ、深衣ふて、斯を、とよむハ、古音、○許斯與呂志ハ、此宜、ふて、斯ハ、助辞、扱、是ハ、始、不束、装立とあり、時の御装、
 ○伊刀古夜能ハ、縣居翁の、寐

伊 刀 古 夜 能 伊 毛 能 美 許 等 牟 良

所、屋之、と云る
 小、從、つ、即、次
 小、係、る、枕、詞、く
 ○伊、毛、能、美、許
 等、ハ、妹、命、よ、て、
 須、世、理、昆、賣、命、
 を、指、す、○年、良、
 登、理、能、ハ、群、鳥、
 之、み、て、枕、詞、く
 ○和、賀、半、礼、伊、
 那、婆、ハ、我、群、性、
 者、不、て、從、者、を、
 率、連、て、大、和、不、
 往、路、を、と、り、
 ○比、氣、登、理、能、
 引、鳥、之、を、り、
 引、を、ヒ、ケ、と、云、る、ハ、高、を、タ、ケ、長、を、ナ、ゲ、と、云、る、例、あり、和、名、抄、不、讀、波、國、大、内、郡、
 郷、名、引、田、比、多、と、注、し、姓、不、引、田、部、可、り、叔、鳥、を、友、を、引、み、て、飛、を、の、ふ、き、バ、枕、

登、理、能、和、賀、半、禮、伊、那、婆、比、氣、登、
 理、能、和、賀、比、氣、伊、那、婆、那、迦、士、登、
 波、那、波、伊、布、登、母、夜、麻、登、能、比、登、
 母、登、須、須、岐、宇、那、加、夫、斯、那、賀、那、
 加、佐、麻、久、阿、佐、阿、米、能、佐、疑、理、通、
 多、多、年、叙、和、加、久、佐、能、都、麻、能、美、
 許、登、許、登、能、加、多、理、基、登、母、許、遠、
 婆

詞、お、あり、○和、賀、比、氣、伊、那、婆、ハ、我、引、性、者、之、○那、迦、士、登、波、那、波、伊、布、登、母、ハ、
 不、泣、者、汝、者、難、言、ふ、て、汝、ハ、須、勢、理、昆、賣、を、指、す、○夜、麻、登、能、比、登、母、登、須、々、岐、ハ、
 大、和、之、一、本、薄、く、按、し、大、和、不、豫、て、變、移、ハ、薄、の、あ、り、を、思、し、出、て、宇、那、加、夫、斯、
 の、序、と、為、給、し、○宇、那、加、夫、斯、ハ、項、傾、之、神、代、紀、ハ、項、傾、此、云、歌、才、志、○那、賀、那、
 加、佐、麻、久、也、汝、之、將、泣、を、二、反、延、た、る、語、也、○阿、佐、阿、米、能、ハ、朝、雨、之、を、○佐、疑、
 理、通、多、多、年、叙、ハ、佐、霧、ハ、將、立、を、し、佐、疑、理、ハ、上、不、狹、霧、と、可、ハ、處、不、注、り、叔、朝、
 雨、ハ、御、涙、よ、て、霧、ハ、歎、息、を、云、万、葉、十、五、五、君、之、由、久、海、辺、乃、夜、杼、尔、奇、里、
 多、多、婆、安、我、多、知、奈、氣、久、伊、伎、等、之、理、麻、勢、○和、加、久、佐、能、ハ、若、草、之、み、て、妻、の、枕、
 詞、之、若、草、ハ、う、る、ち、し、物、也、冠、ら、せ、り、と、冠、辞、考、云、り、○都、麻、能、美、許、登、ハ、
 妻、命、あり、一、首、の、意、ハ、御、心、不、應、も、し、ま、御、叢、せ、し、を、妹、命、と、吾、大、和、の、妹、許、み、出、
 行、ハ、汝、が、大、く、歎、ら、む、其、を、い、と、回、し、
 く、思、ひ、て、よ、め、り、此、歌、ぞ、と、詔、る、ま、り、
 の、立、依、ハ、御、馬、
 小、乘、む、と、し、
 ふ、處、子、之、○美、
 許、登、夜、の、夜、ハ、
 歎、息、の、辞、あり、
 ○遠、邇、伊、麻、世、

爾、其、后、取、大、御、酒、坏、立、依、指、舉、而、
 歌、曰、夜、知、富、許、能、加、微、能、美、許、登、
 夜、阿、賀、淤、富、久、邇、奴、斯、許、曾、波、遠、

○古事記標注上卷之中

○五十

婆ハ、男子坐者
 流ハ、打見る子
 能佐岐邪岐ハ、
 嶋之崎々々
 加岐微流ハ、
 撥見ふて、撥も
 輕添、たり、
 伊蕪能、佐岐淤
 知受ハ、磯之崎
 不落、たり、不落とハ漏さずとく
 許曾を結へり、阿波母與、吾者ふて、母與を次、句を、呼、出、す、語、あり、万葉一、
 籠毛與、美籠母乳、とあり、ふおふと、賣迹斯、阿礼婆ハ、女子在者、ふて、斯ハ助辞
 都麻波那斯ハ、夫ハ無、あり、上代ハ夫婦相互、都麻と稱、一、多例多
 猶夫、字を、ツマとよめるハ、万葉九、若草之、夫香有良武とあり、

通伊麻世婆宇知微流斯麻能佐
 岐邪岐加岐微流伊蘇能佐岐淤
 知受和加久佐能都麻母多勢良
 米阿波母與賣通斯阿禮婆那遠
 岐豆遠波那志那遠岐豆都麻波
 那斯

○阿夜加岐能
 ハ、綾垣之、ふて、
 綾もて帷帳と、
 志、た、を、云、應
 神、段、ふ、張、繩、垣
 立、帷、幕、内、官、儀
 式、帳、ふ、も、衣、垣
 又、繩、垣、ふ、ど、見
 也、文、ふ、り、て、織
 ま、る、絹、を、綾、と
 ハ、云、り、扱、垣、と
 云、を、家、外、不、結
 廻、ら、せ、り、物、を
 の、こ、云、と、思、ふ
 め、る、ハ、古、意、不
 疎、一、垣、と、ハ、一
 構、不、造、り、たる、処、を、バ、家、を、こ、し、め、藩、籬、を、も、廣、云、る、予、ハ、重、垣、の、御、歌、の、処、立、場、て
 見、べ、し、猶、下、不、青、柴、垣、と、い、ふ、も、流、べ、し、斯、ま、バ、此、の、阿、夜、加、岐、ハ、錦、綾、の、障、子

阿夜加岐能布波夜賀斯多爾牟
 斯夫須麻爾古夜賀斯多爾多久
 夫須麻佐夜具賀斯多爾阿和由
 岐能和加夜流牟泥遠多久豆怒
 能斯路岐多陀牟岐曾陀多岐多
 多岐麻那賀理麻多麻傳多麻傳
 佐斯麻岐毛毛那賀通伊遠斯那
 世登與美岐多豆麻都良世

とも、云べきは當り、和訓栞二編ハ、壁ハ垣方の義と云り、古意不近一〇布波
夜賀斯多爾の布字も、此の古音あまは、和屋之裏、榮花物語、音楽、宮の
トウ、むもやり、愛たうあどあり、斯多とハ、裏不阿たりて、其内と云意、然不
記傳不、布波夜ハ、俗不ふてくと、云予こと云り今定、たぐれを、後人よく考へ
てよ〇牟斯夫須麻ハ、苧被り、苧麻も和名抄不、加良無之と注一、肥前不て、シラ
ノと云、土佐不て、シロソと云、是ふて織た、被を云ふづ、大木集十不七タ
ふ、クヤ、ラすらむ、野ハ、毎不、乱是あ、ふむ、むの衣ハ、とらも、由何ぐ
聞也、万葉四不、悉被、奈胡也賀下丹、とある、蒸ハ借字不て、此の御哥の詞を、とれ
り、然不記傳不も、是を正字とて、暖あふよ一の称と云り〇爾古夜賀斯多
爾ハ、采屋之裏ふあり〇多久夫須麻ハ、栲被あり〇佐夜具賀斯多爾ハ、記傳不
契沖の説を引て、清之下ふと記せり、下ハ裏不て何事も裡と云、予あり、今按不
具、字も、古書不ギとよめろが、多られバ、サヤギ之裏ありべ一即清く〇伊遠斯
那世ハ、記傳不寐を宿よと、云予ふて、斯も助辞と云、久上不伊波那佐牟遠、と何
るを、對見べ一〇登與美岐ハ、古書不、豊御酒と書り、按不豊明、豊の何そび、ふ
と云、怒て鳴、動、を、トヨムとも、トヨクとも云て、響て顔の赤らむまで、酒飲
むを、豊明と云、う、ま、賑ま、く、飲べき料の酒を、豊御酒とハ云り〇多
豆麻都良世ハ、獻まを延、たる語不て、人ふ令せて、獻らむるあり、是を記傳不
契、ヤ、説ありとて、聞食と云予を、多豆麻都良世、と云と云、まど、聞食を、然云、る

如此歌、即為宇伎由比、四字而、宇

那賀氣理豆、六字以、音、至、今、鎮坐也、此

謂之神語也

予、未、其、例、を、見
ザ、〇、宇、伎、由、比
ハ、蓋、結、ち、り、景
行、紀、不、別、其、志
蓋、處、日、浮、羽、と
あり、雄、畧、段、不
美、豆、多、麻、宇、岐、と、何、も、も、瑞、玉、蓋、ち、り、べ、一、扱、出、立、作、不、を、止、て、蓋、を、交、し、眩、む、終
ふ、ハ、此、の、由、比、て、ハ、不、て、義、理、明、ら、ま、り、〇、宇、那、賀、氣、理、豆、ハ、項、撰、て、の、延、語、不、て、
項、不、御、手、を、撰、樂、之、終、入、く、撰、む、カ、シ、カ、キ、と、活、用、多、古、書、不、例、お、回、一、万、葉、十
八、不、多、豆、佐、波、利、宇、奈、我、既、利、為、豆、云、々、〇、鎮、坐、也、ハ、記、傳、不、出、雲、田、不、留、坐、を、云
と、云、り、〇、神、語、也、記、傳、不、神
の、御、事、を、云、る、詞、く、と、云、り

古事記標注上卷之中

終

而中

雅賢藤野巨州精運今藤坐出地

跡之轉轉出

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 藤野, 巨州, 精運, 今藤, 坐出, 地, 跡, 轉, 轉, 出.]

